

# 市民意識調査報告書

平成25年7月

掛川市 企画調整課

# 目 次

第1章 市民意識調査の概要	2
第2章 集計結果	3
1. 基本的事項	
2. 政策の実施効果	
3. 政策に対する満足度と優先度	
(1) 満足度と優先度の分析結果（ポートフォリオ分析）	
(2) 象限（ゾーン）別の経年変化	
(3) 満足度の経年変化	
(4) 優先度の経年変化	
第3章 自由回答結果	22
参考 市民意識調査票	40

注 比率（％）は、原則として小数点第2位を四捨五入して表示した。そのため、合計比率が一致しない場合がある。

# 第1章 市民意識調査の概要

## 1. 調査目的

近年、地方分権の流れから、国及び都道府県から市町村へ事務・権限が多く移譲され、それぞれの地域の独自性を反映した行政が求められている。そのため、今後は、市町村をはじめとする地方公共団体には、住民の意思を反映しながら、自らの判断と責任において、施策を立案・実施していかなければならない。

このことから、本市では平成19年度からの第1次掛川市総合計画において、顧客（すなわち市民）志向の重点的・戦略的な事業展開を行う成果志向型行政経営に取り組んでいる。

この市民意識調査の目的は、以下の2点にある。

- (1) 総合計画に定めた成果指標の達成度を測定する。
- (2) 総合計画基本計画に設定した51施策の市民の満足度と優先度を測定する。

この調査により、複雑・多様化する市民ニーズをとらえ、施策・事務事業の軌道修正や新規立案の検討材料とするものである。

## 2. 調査対象

### (1) 調査対象

市内在住の20歳以上の全ての市民の中から2,500人の方々を抽出し、男女比率を1対1とし、年齢階層ごとに均等に抽出した。

### (2) 配布数

2,500枚を配布した。

## 3. 調査期間と調査方法

### (1) 調査期間

平成25年5月1日～平成25年5月15日

### (2) 調査方法

郵送により発送・回収した。

## 4. 回収状況

1,271枚回収（回収率 50.8%）

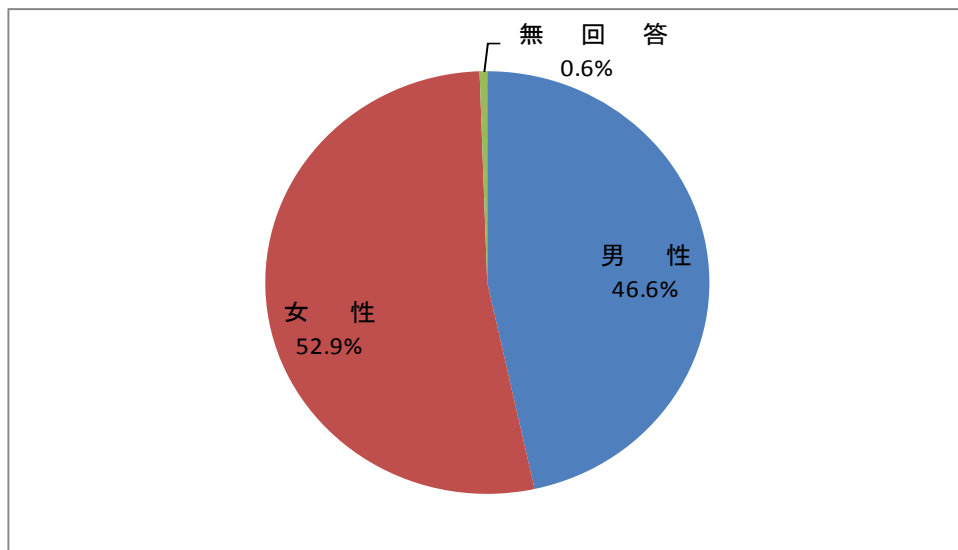
（参考：前年は、2,500枚配布、1,060枚回収。回収率 42.4%）

## 第2章 集計結果

### 1. 基本的事項

#### (1) 性別（問1）

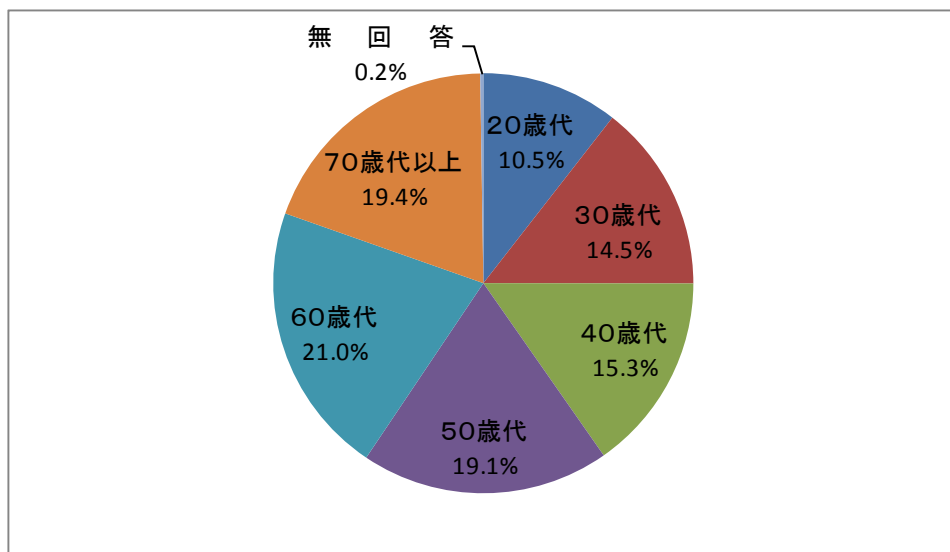
回答者の性別は、「男性」46.6%、「女性」52.9%であった。男女の割合は24年度とほぼ同じであった。



#### (2) 年齢（問2）

回答者の年齢は、若年層（20歳代・30歳代）の割合が25.0%、中年層（40歳代・50歳代）の割合が34.4%、高年層（60歳代・70歳代以上）の割合が40.4%であった。

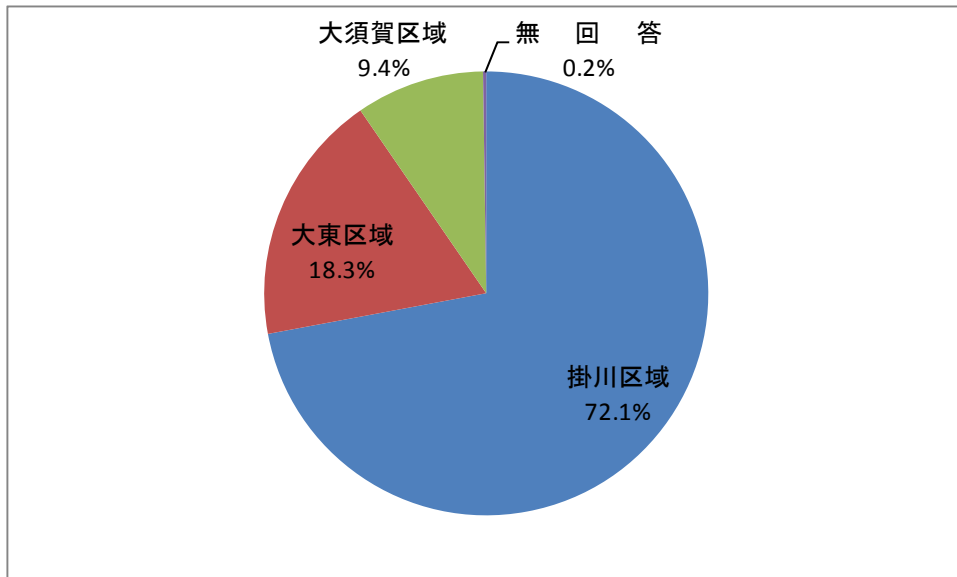
これまでの調査と同様、本調査結果には高年層の意向が多少強く反映されていることがうかがえる。



(3) 住まい (問3)

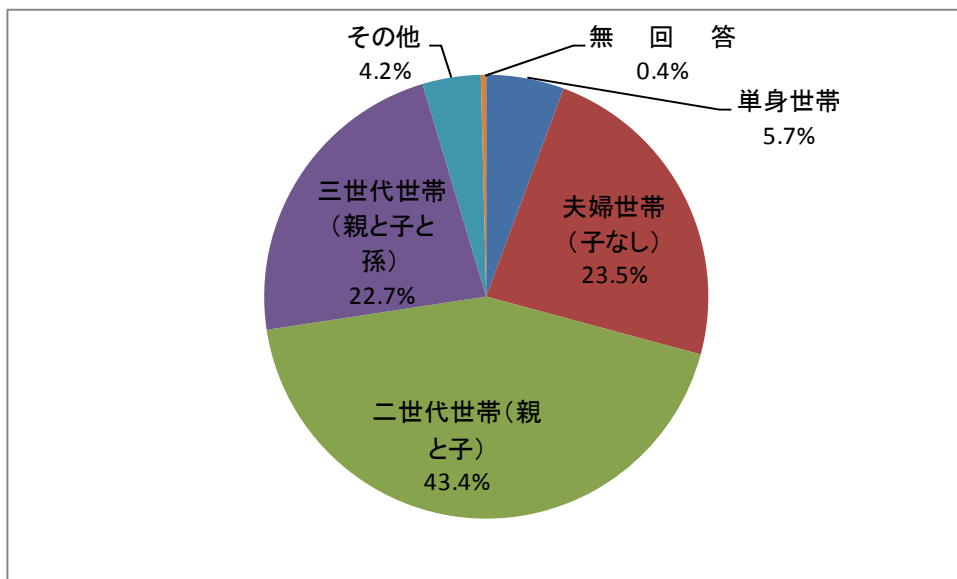
回答者の住まいは、「掛川区域」72.1%、「大東区域」18.3%、「大須賀区域」9.4%であった。各地区の割合は24年度とほぼ同様である。

なお、実際の人口割は、掛川区域 72.6%、大東区域 17.4%、大須賀区域 10.0% (平成 25 年 3 月末時点) である。



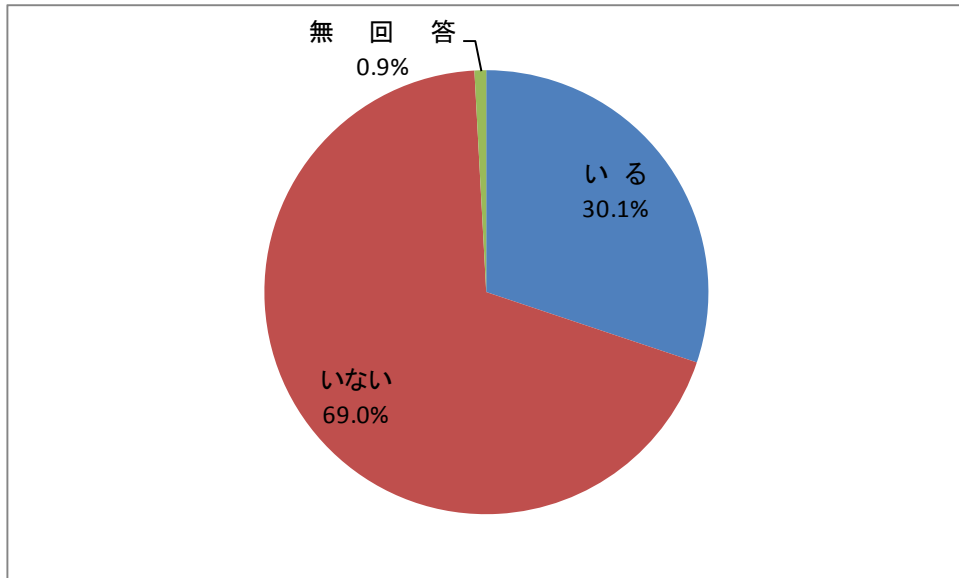
(4) 家族構成 (問4)

回答者の家族構成は、「二世世代世帯 (親と子)」と「夫婦世帯 (子なし)」が 66.9% (前年比 2.5%増) となり、核家族が主流になっている。



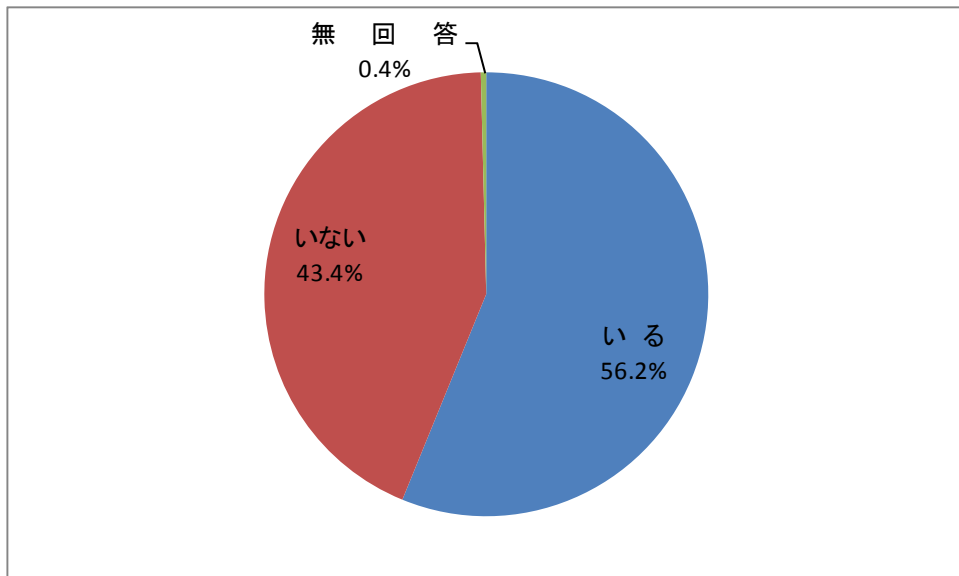
(5) 高校生以下の子どもの有無 (問5)

回答者の子どもの有無 (高校生以下) は、「いる」が 30.1%となり、24年度より 6.8ポイント増加した。



(6) 65歳以上の家族の有無 (問6)

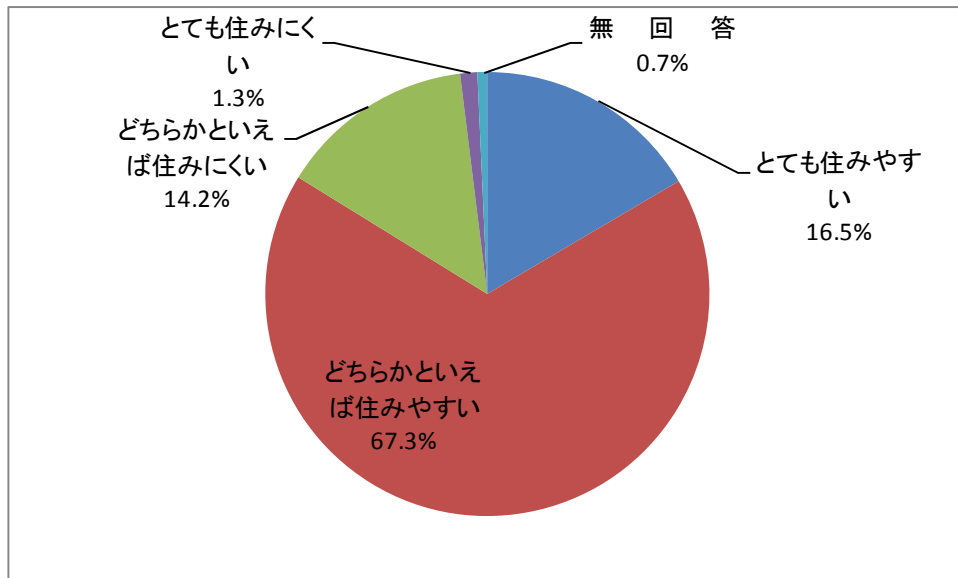
回答者の65歳以上の家族の有無は、「いる」が 56.2%となり、24年度より 7.3ポイント増加した。



(7) 住みやすさ (問7)

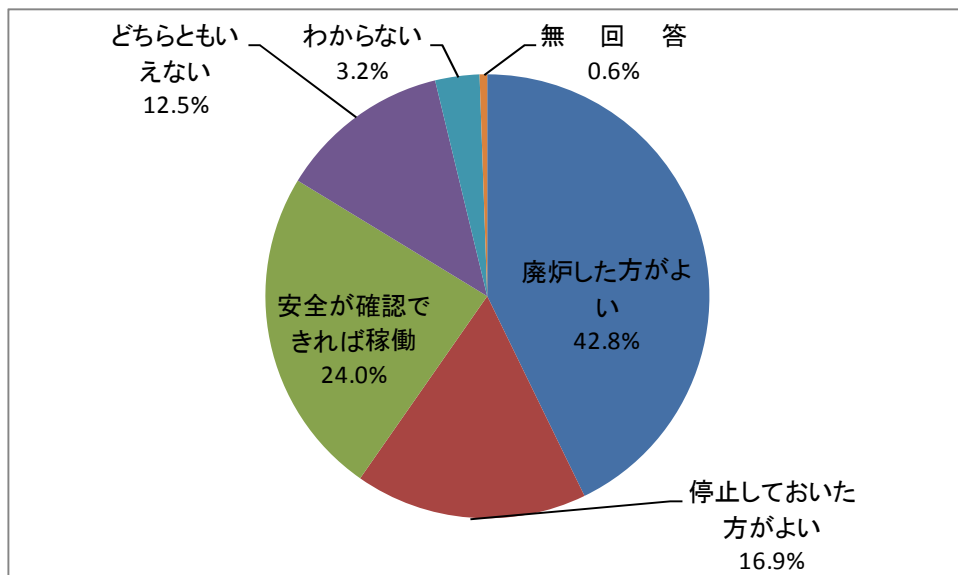
「どちらかといえば住みやすい」が67.3%と最も多く、「とても住みやすい」16.5%とあわせると83.8%の市民が住みやすいと感じていることがうかがえる。

住みやすいと感じる市民の割合は、今年度、23年度調査とほぼ同程度まで回復した。



(8) 浜岡原子力発電所について(問8)

浜岡原子力発電所の今後については、「廃炉した方がよい」が42.8%と最も多かった。

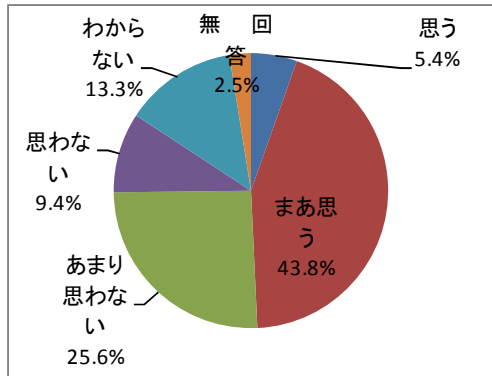


2. 政策の実施効果

<9-1>※総合計画 成果指標

保健医療福祉分野 大綱1

掛川市は、安心して子どもを産み育てる環境が整っているまちだと思いますか？

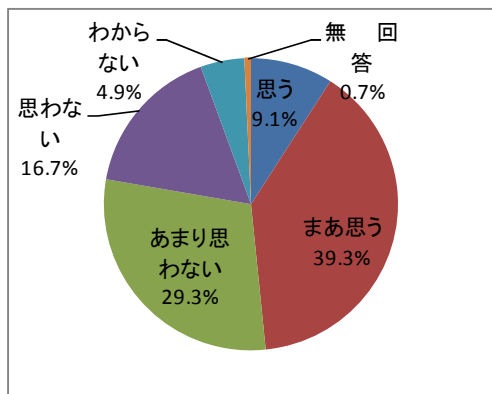


「思う」5.4%、「まあ思う」43.8%と肯定的回答が49.2%となり、24年度調査より1.1ポイント減少した。また、「あまり思わない」25.6%、「思わない」が9.4%と否定的回答が35.0%となり、4.1ポイント増加した。

<9-2>※総合計画 成果指標

保健医療福祉分野 大綱2

掛川市は、病気やケガなど万一の時、いつでも安心した医療が受けられるまちだと思いますか？

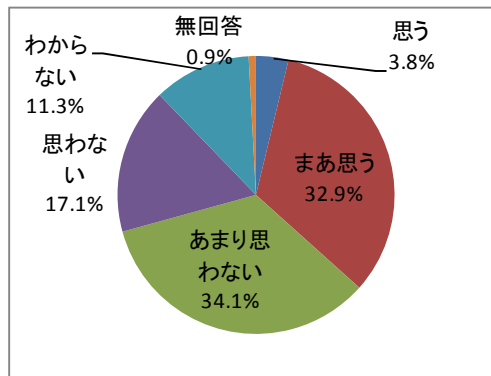


「思う」9.1%、「まあ思う」39.3%となり、24年度調査とほぼ同じで、肯定的回答が半数を下回った。しかし、否定的回答は、24年度調査に比べて「思わない」と「あまり思わない」の合計が3.8ポイント減少している。

<9-3>※総合計画 成果指標

保健医療福祉分野 大綱3

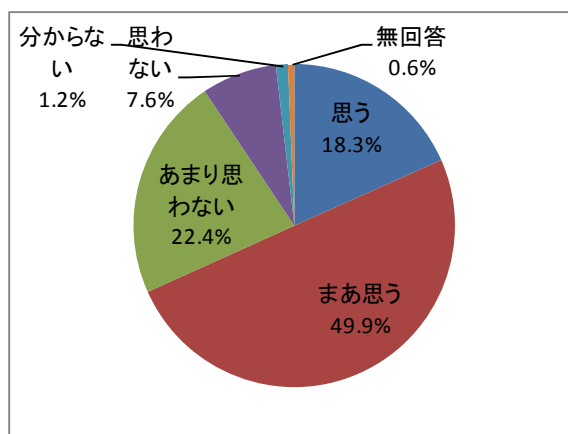
掛川市は病人や障害者、高齢者になっても安心して暮らしていけるまちだと思いますか？



「思わない」17.1%、「あまり思わない」34.1%であり、依然否定的回答が半数以上を占めている。

<9-4>

あなたは、栄養バランスに気を付けて食事をしていると思いますか？



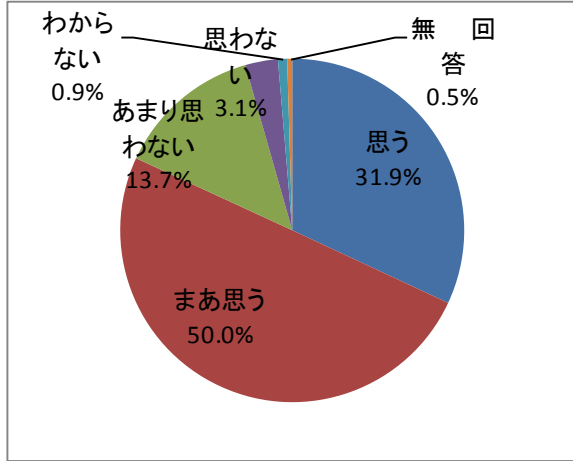
「思う」18.3%、「まあ思う」49.9%と肯定的回答が68.2%と半数以上を占めた。



<9-5>※総合計画 成果指標

環境生活分野 大綱1

あなたは日頃から、ごみの減量化、節水、電気使用量の削減など地球環境保全のために行動していると思いますか？

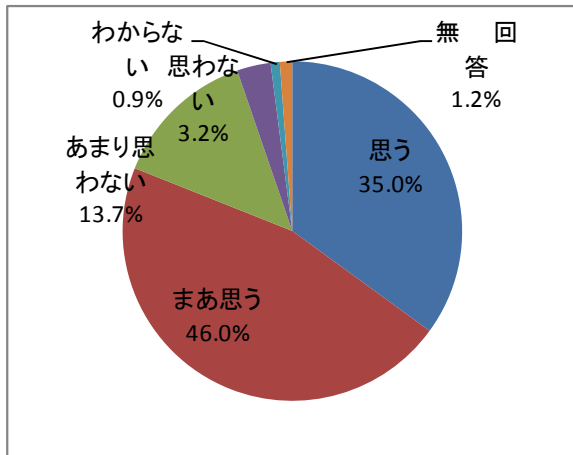


「思う」31.9%、「まあ思う」50.0%と肯定的回答は前回調査とほぼ同じく高い割合である。環境に対する意識が広く市民に浸透・定着していることがうかがえる。

<9-6>※総合計画 成果指標

環境生活分野 大綱2

あなたは、豊かな自然を身近に感じて暮らしていると思いますか？

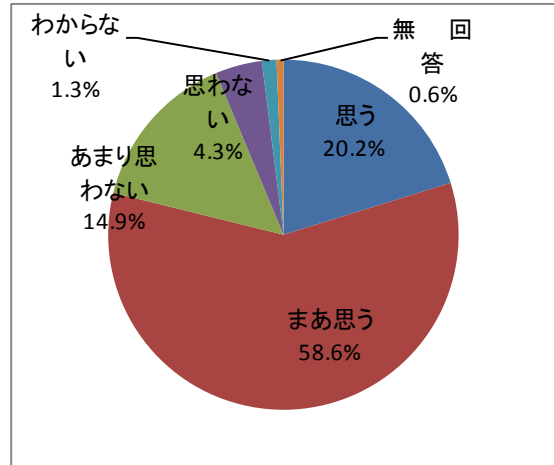


「思う」が35.0%、「まあ思う」が46.0%となった。24年度調査同様、肯定的回答が高い割合であった。

<9-7>※総合計画 成果指標

環境生活分野 大綱3

あなたがお住まいの地域は、清潔できれいな生活環境が保たれていると思いますか？

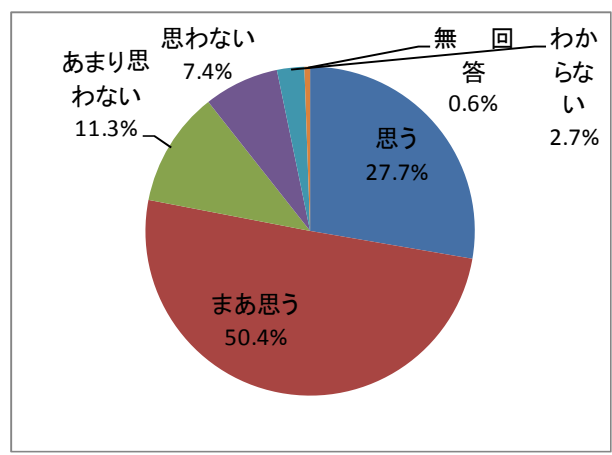


「思う」が20.2%、「まあ思う」が58.6%となった。24年度調査同様、肯定的回答の割合が高かった。

<9-8>※総合計画 成果指標

環境生活分野 大綱3 基本計画3

あなたは、上水道が安心して飲め、断水などが無く安定して供給されていると思いますか？

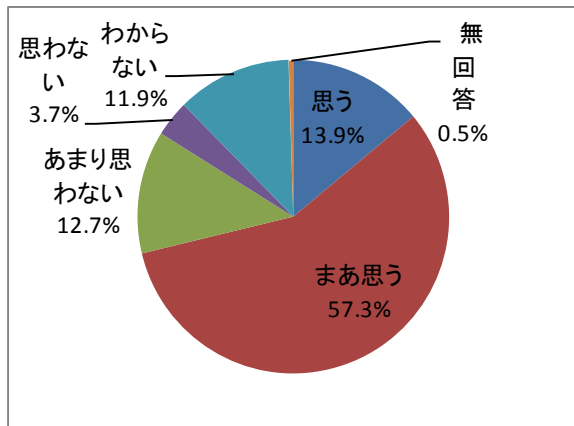


「思う」が27.7%、「まあ思う」が50.4%となった。24年度調査同様、肯定的回答が非常に高い割合であった。

<9-9>※総合計画 成果指標

教育文化分野 大綱1

あなたは、地域の子も達が、心身ともに健全に成長していると思いますか？

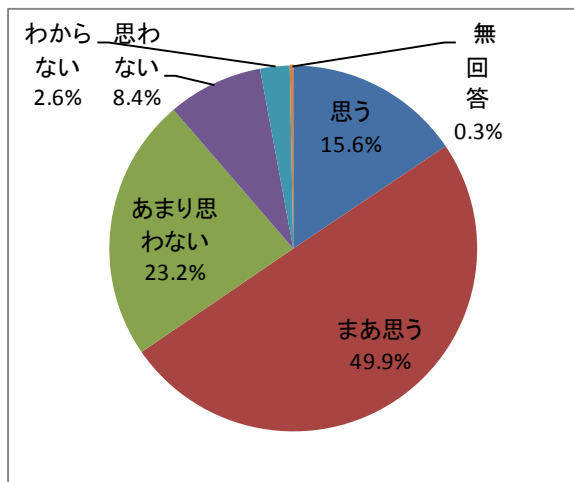


「思う」13.9%、「まあ思う」57.3%と肯定的回答が7割を超えている。

<9-10>※総合計画 成果指標

教育文化分野 大綱2

あなたは、健康で生きがいを持って人生を送れていると思いますか？

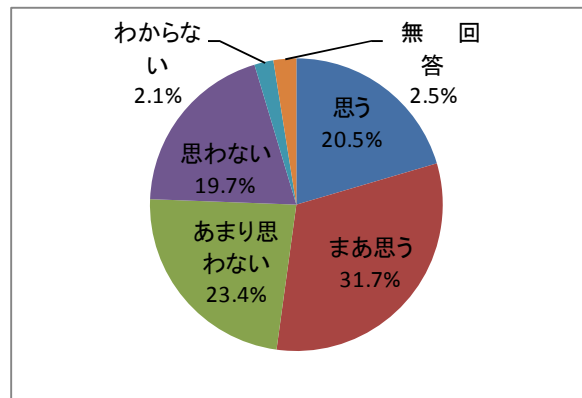


「思う」が15.6%、「まあ思う」が49.9%となった。24年度調査の「思う」16.1%、「まあ思う」49.1%とほぼ同じ割合となった。

<9-11>※総合計画 成果指標

教育文化分野 大綱2 基本計画1

あなたは、生きがいを感じる趣味や活動に取り組んでいますか？

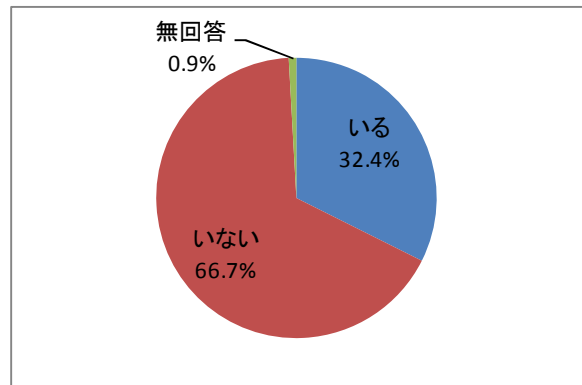


「思う」が20.5%、「まあ思う」が31.7%となった。24年度調査の「思う」23.4%、「まあ思う」31.6%と同様、肯定的回答が半数を超えた。

<9-12>※総合計画 成果指標

教育文化分野 大綱2 基本計画2

あなたは、週1回以上スポーツやレクリエーションをしていますか？

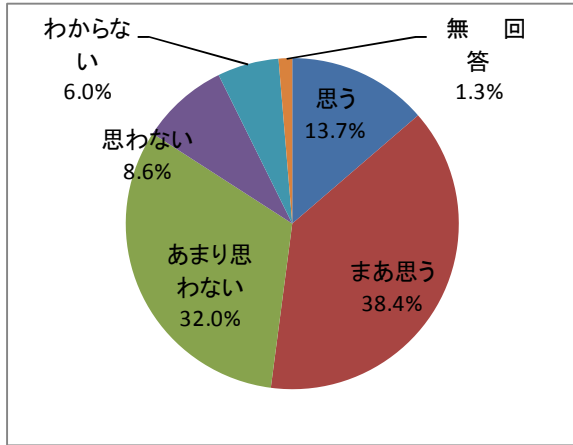


「いる」が32.4%となり、前回調査の29.7%より2.7ポイント増加し、「いない」が66.7%で前回調査の68.9%より2.2ポイント減少した。

<9-13>※総合計画 成果指標

教育文化分野 大綱3

あなたは、郷土の歴史や文化に誇りと愛着を持っていますか？

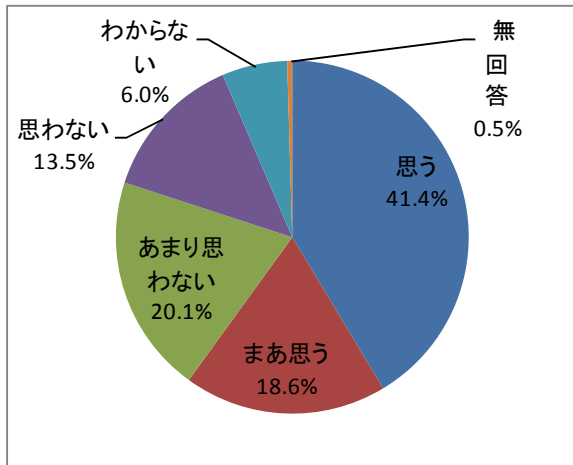


「思う」が 13.7%、「まあ思う」38.4%となった。24年度調査の「思う」13.8%、「まあ思う」38.7%と同様、肯定的回答が半数を超えた。

<9-14>※総合計画 成果指標

都市基盤分野 大綱2

あなたは、通勤・通学・通院・買い物などに出かける時にバスや鉄道に不便を感じますか？

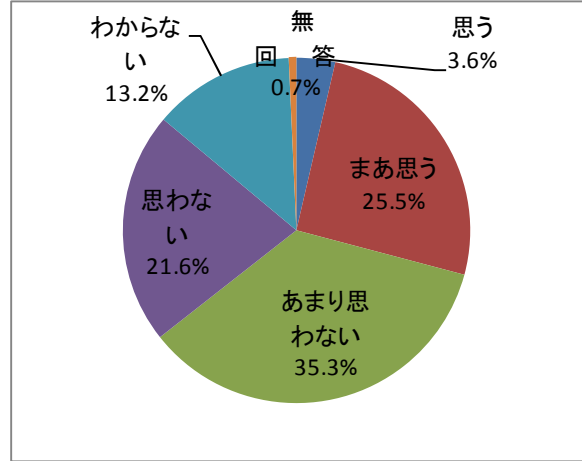


「思う」41.4%、「まあ思う」18.6%となった。24年度調査の「思う」37.5%、「まあ思う」20.1%同様、半数以上が不便を感じている。

<9-15>※総合計画 成果指標

都市基盤分野 大綱3

掛川市は、計画的な土地利用や都市計画により、住宅・商業・農業・工業などがバランス良く配置されているまちだと思いますか？

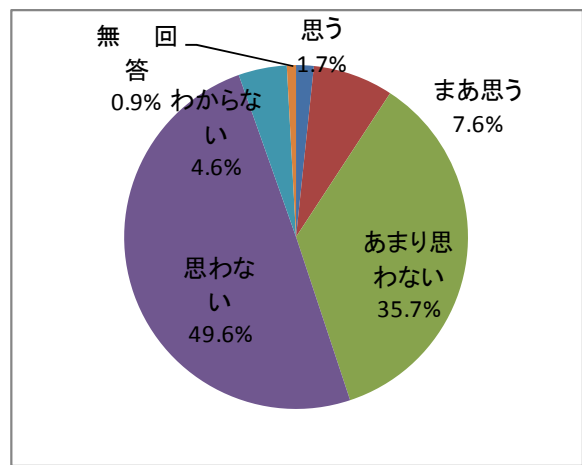


「思う」が 3.6%、「まあ思う」が 25.5%となった。24年度調査の「思う」3.0%、「まあ思う」27.5%より肯定的回答が 1.4 ポイント減少した。

<9-16>※総合計画 成果指標

都市基盤分野 大綱3

掛川駅周辺の中心市街地は、魅力的で楽しい場所だと感じますか？

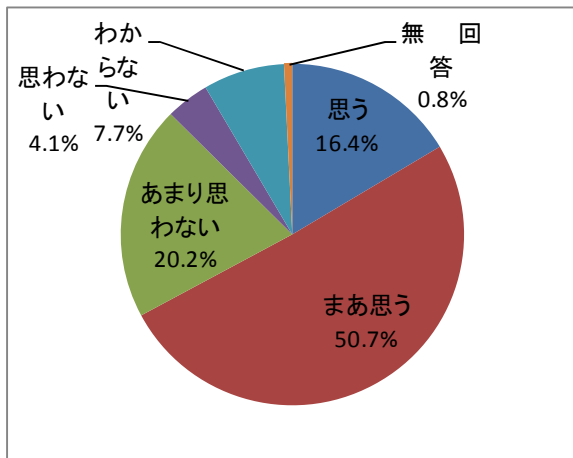


「思う」が 1.7%、「まあ思う」7.6%となった。肯定的回答が 10%を切り、極めて低い結果となった。

<9-17>※総合計画 成果指標

防災危機管理分野 大綱 1

あなたは、地震発生など災害時に自分がどのように行動すれば良いか自覚していますか？

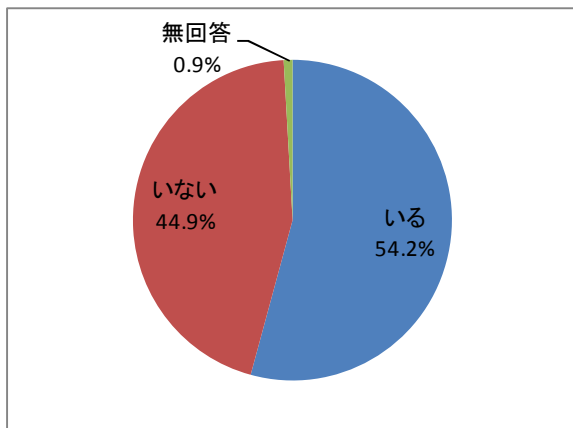


「思う」が 16.4%、「まあ思う」が 50.7%となった。24 年度調査の「思う」17.7%、「まあ思う」50.6%からやや減少し、否定的回答も 24 年度調査と比べて 4.1 ポイント増加している。

<9-18>※総合計画 成果指標

防災危機管理分野 大綱 1 基本計画 1

あなたは、災害に備えて水や食料など非常持ち出し品を準備していますか？

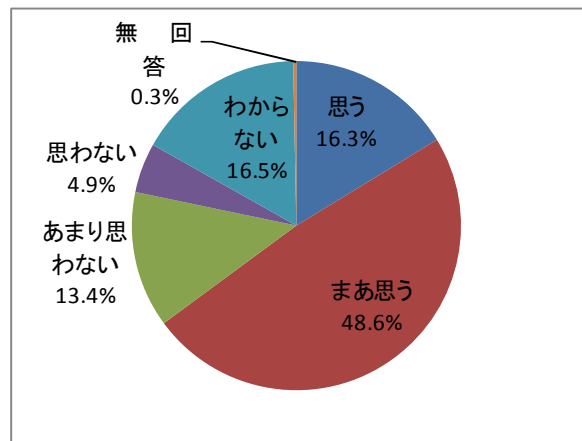


「いる」が 54.2%で、24 年度調査の 56.7%より 2.5 ポイント減少した。約 4 割が非常時の備えをしていないと回答している。

<9-19>※総合計画 成果指標

防災危機管理分野 大綱 2

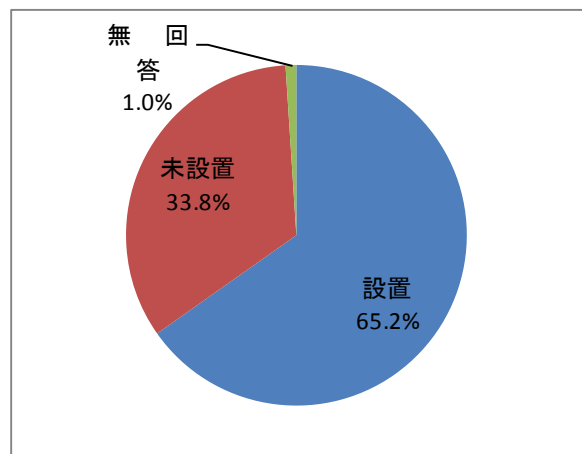
掛川市は、火事や急病の時に直ちに駆けつけてくれる、信頼できる消防救急体制が確保されていると思いますか？



「思う」が 16.3%、「まあ思う」48.6%であった。24 年度調査の「思う」18.5%、「まあ思う」43.5%と同様、肯定的回答が 6 割を超えた。

<9-20>

あなたの自宅には、火災警報器（煙や熱を感知して警報音を発するもの）が設置されていますか？

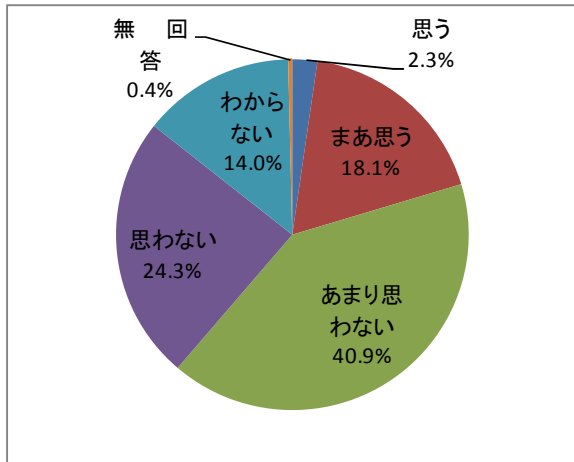


「設置済」が 65.2%と 24 年度調査の 67.7%より 2.5 ポイント減少し、依然 3 割は「未設置」である。

<9-21>※総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱1

あなたの力は、より良い地域づくり・まちづくりに活かされていると思いますか？

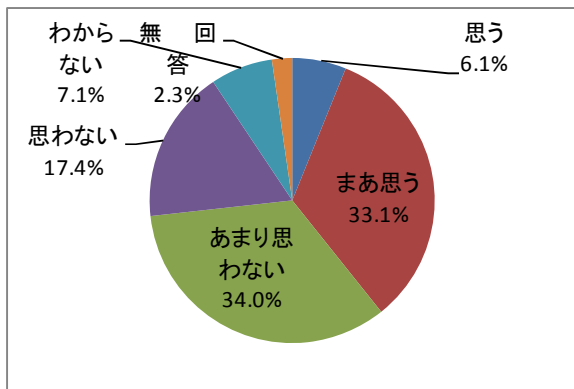


「あまり思わない」が 40.9%、「思わない」が 24.3%であった。24 年度調査の「あまり思わない」35.3%、「思わない」25.8%と同様、否定的回答が 6 割を超えた。

<9-22>※総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱1 基本計画3

あなたは、必要な時に必要な市の情報が手に入っていると思いますか？

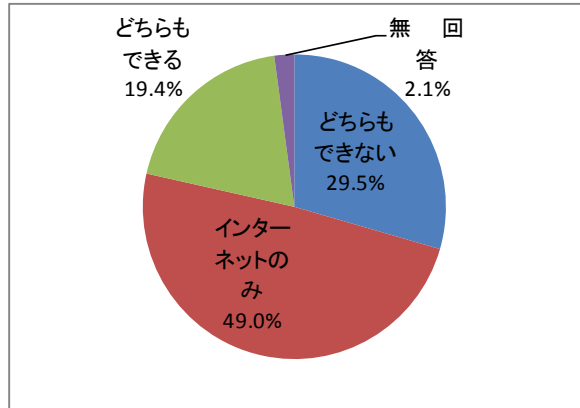


「思う」6.1%、「まあ思う」33.1%の合計が 39.2%となり、24 年度より 1.2%減少し、「あまり思わない」34.0%、「思わない」17.4%の合計が 51.4%と、否定的回答が半数を超えている。

<9-23>※総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱1 基本計画4

あなたの自宅ではインターネットを利用することができますか？また、ブログやSNSを利用していますか？

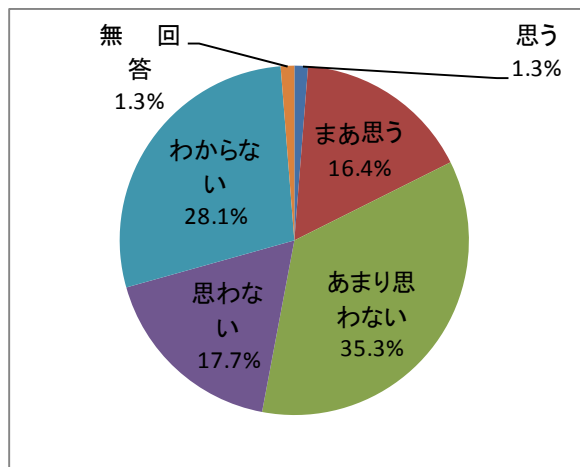


「どちらもできない」と回答した人の割合は 29.5%となり、24 年度調査の 35.4%より 5.9%減少した。インターネットは 68.4%の市民が利用している。

<9-24>※総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱2

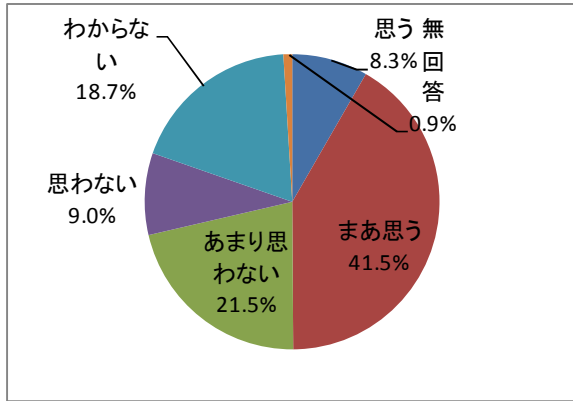
掛川市は、他の自治体に比べ行政改革が進んでいると思いますか？



「あまり思わない」が 35.3%、「思わない」17.7%であった。24 年度調査と同じく否定的回答が半数を占めている。また、「わからない」も 28.1%となっており、他の選択肢に比べて多くなっている。

<9-25>※総合計画 成果指標

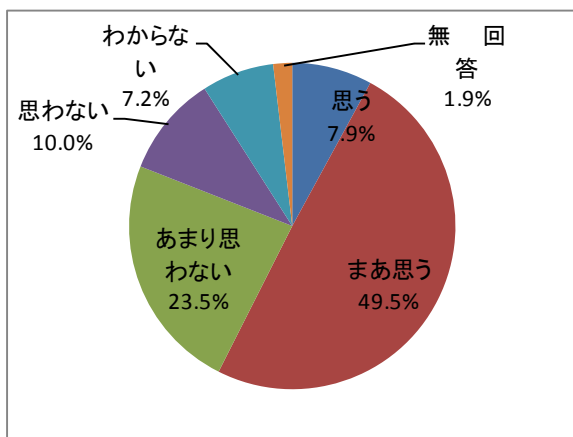
協働広域行財政分野 大綱2 基本計画1  
あなたは、掛川市役所の窓口サービスが迅速で効率よく提供されていると思いますか？



「思う」が8.3%、「まあ思う」が41.5%であった。24年度調査の「思う」9.8%、「まあ思う」43.7%より肯定的回答が3.7ポイント減少し、否定的回答も30.5%と3割を超えた。

<9-26>※総合計画 成果指標

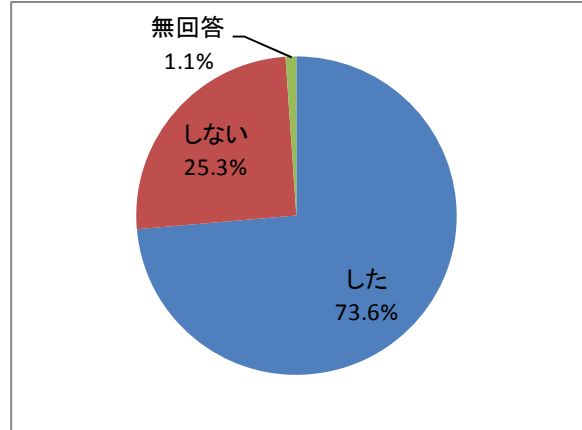
協働広域行財政分野 大綱3  
あなたがお住まいの地域は、人と人が信頼し、助け合える環境になっていると思いますか？



「思う」が7.9%、「まあ思う」が49.5%となり、肯定的回答が半数を超え、24年度調査の「思う」8.6%、「まあ思う」45.0%に比べて3.8ポイント増加した。

<9-27>※総合計画 成果指標

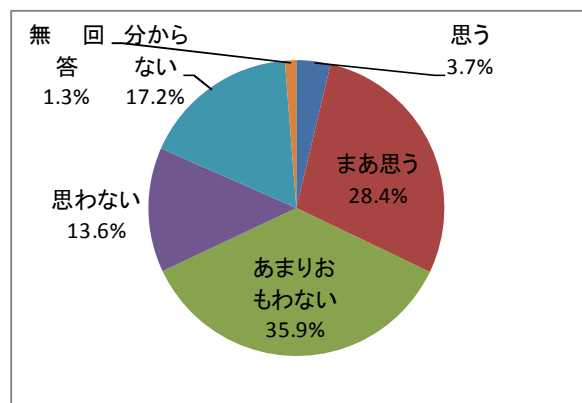
協働広域行財政分野 大綱3 基本計画1  
あなたは、一年間に一回以上、地域の活動（奉仕活動やイベントなど）に参加しましたか？



「した」が73.6%であり、24年度調査の67.4%より6.2ポイント増加している。

<9-28>※総合計画 成果指標

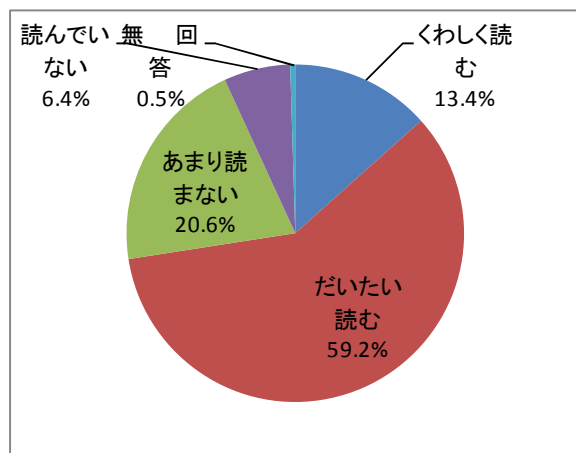
協働広域行財政分野 大綱4  
あなたは、家庭・地域・職場などあらゆる場面で、男女共同参画が進んでいると思いますか？



「思う」が3.7%、「まあ思う」が28.4%となり、24年度調査の肯定的回答34.3%に比べ2.2ポイント減少した。

<9-29>

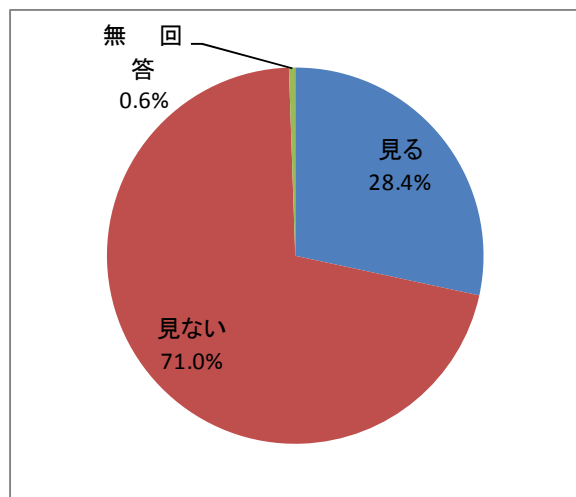
あなたは「広報かけがわ」を読んでいますか？



「くわしく読む」が 13.4%、「だいたい読む」が 59.2%となり、24年度調査の「くわしく読む」15.4%、「だいたい読む」61.5%よりやや減少している。

<9-30>

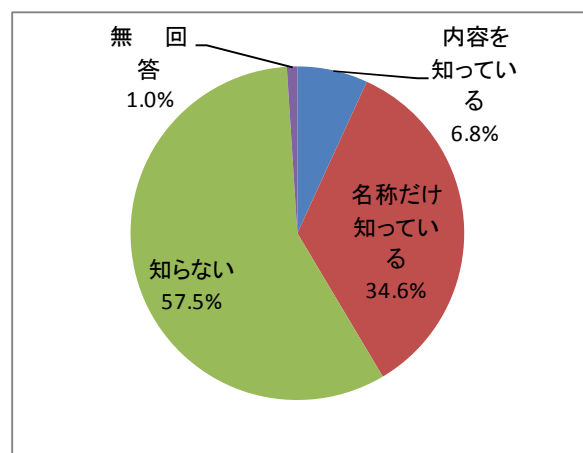
あなたは市のホームページを情報収集のために見ますか？



「見る」が 28.4%、「見ない」が 71.0%となり、市のホームページの活用度が低いことが伺える。

<9-31>

掛川市が今年4月に施行した、「掛川市自治基本条例」を知っていますか？



「内容を知らない」が 6.8%であり、「知らない」が 57.5%と半数以上であった。

### 3. 政策に対する満足度と優先度

#### ポートフォリオによる分析

ポートフォリオ分析とは、総合計画基本計画に定められた 51 施策の満足度と優先度を点数化し、縦軸に優先度（グラフ上側がより優先度が高く、下側がより優先度が低い）を、横軸に満足度（グラフの右側がより満足度が高く、左側がより満足度が低い）をとってグラフ化し、各施策の分布状態から、効果的な投資を判断しようとするものである。座標の原点は、満足度と優先度の両者とも平均値としている。各象限に位置づけられた施策は 51 施策の比較の中では概ね次のように評価されたと考えることができる。

(1) 満足度と優先度の分析結果 (※ P 18 のポートフォリオグラフ表を参照)  
 平均値 満足度：-0.07 優先度：0.62

#### ①満足度も優先度も高い施策 — B ゾーン（グラフ右上側）

51 施策の比較では、満足度も優先度も高い施策となる。サービスが一定の水準に到っているが、重要度が高いことから積極的に現状維持する施策となる。

【満足度も優先度も高い施策】	満足度	優先度
・ 1 子ども支援の充実	0.26	1.33
・ 2 親支援の充実	0.03	0.93
・ 4 市民の健康づくり	0.28	0.91
・ 7 国民健康保健事業等の健全な運営	-0.06	0.94
・ 9 高齢者福祉の充実	-0.05	0.94
・ 13 ごみ減量と資源の有効活用の推進	0.65	0.75
・ 17 水質浄化の推進	0.31	0.72
・ 18 安全・安心で安定した上水道の供給	0.87	0.92
・ 19 学校教育の充実	0.33	1.06
・ 20 乳幼児教育の充実	-0.01	1.15
・ 21 青少年の健全育成	0.10	0.73
・ 41 消防救急体制の強化	0.41	1.08
・ 42 交通安全対策の強化（交通事故の根絶）	0.02	0.79
・ 43 犯罪の撲滅	0.08	1.06

#### ②満足度が低く、優先度が高い施策 — A ゾーン（グラフ左上側）

51 施策の比較では、満足度が低く、優先度が高い施策になる。サービスの水準が低く、重要度が高いことから、不満の解消に向けて積極的に投資すべき施策になる。

【満足度が低く優先度が高い施策】	満足度	優先度
・ 3 子育ての環境整備	-0.21	1.18
・ 5 地域医療・救急医療の充実	-0.24	1.29
・ 6 質の高い医療の提供（市立総合病院）	-0.13	1.18
・ 8 障害のある人への支援	-0.19	1.05



	満足度	優先度
・12 省エネ・再生可能エネルギーの普及促進	- 0.18	0.76
・26 商工業の振興	- 0.65	0.80
・27 雇用の確保と勤労者福祉の充実	- 0.73	1.04
・30 農業の振興	- 0.26	0.81
・31 農商工連携の推進	- 0.48	0.64
・32 幹線道路の整備	- 0.17	0.63
・33 生活道路の整備	- 0.20	0.77
・34 公共交通の確保	- 0.74	0.80
・39 防災・減災体制の強化	- 0.18	1.23
・40 災害に強い住宅、公共施設づくり	- 0.44	1.29
・48 効率的・効果的な行政経営	- 0.45	0.64
・49 財政構造改革	- 0.59	0.85

### ③満足度も優先度も低い施策 — Cゾーン（グラフ左下側）

51 施策の比較では、満足度も優先度も低い施策になる。サービスの水準は低いが、重要度も低いので、市民の不満の要因を把握しながらも、当面、現状を注視する施策となる。

#### 【満足度も優先度も低い施策】

	満足度	優先度
・10 地域福祉活動の推進	- 0.10	0.52
・11 人権が尊重され希望が持てる地域社会の確立	- 0.14	0.52
・14 森林・海岸等自然環境の整備・保全・活用	- 0.13	0.50
・15 公園緑地の整備・緑化の推進	- 0.08	0.28
・28 安全・安心な消費生活の確保	- 0.20	0.20
・29 観光の振興	- 0.48	0.27
・35 バランスの取れた土地の利用	- 0.41	0.23
・36 住宅・住宅地の供給	- 0.10	- 0.11
・37 中心市街地の再形成	- 0.95	0.30
・38 条件不利地域（中山間地域）への支援	- 0.49	0.17
・47 高度情報通信技術（I C T）の利活用	- 0.10	- 0.10
・51 男女共同参画の推進	- 0.15	0.13

（男女がともに個性と能力を発揮できる社会の実現）

### ④満足度が高く優先度は低い施策 — Dゾーン（グラフ右下側）

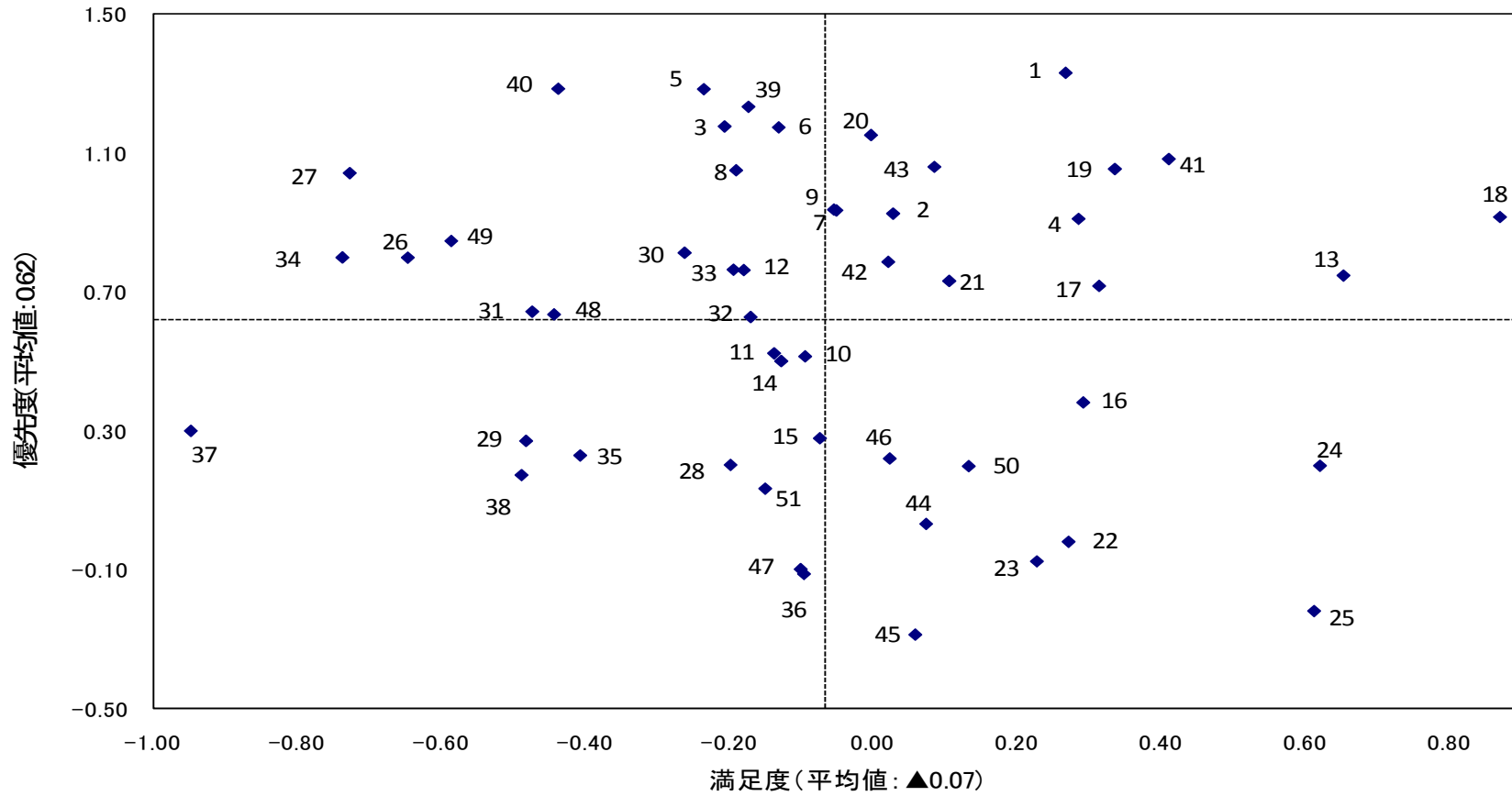
51 施策の比較では、満足度が高く、優先度が低い施策になる。サービスが一定の水準に到っていることから、今後、縮小を検討する施策になる。

#### 【満足度が高く優先度は低い施策】

	満足度	優先度
・16 健康的な生活環境の確保（公害防止）	0.29	0.38
・22 社会教育活動の充実	0.27	- 0.02
・23 生涯スポーツの実践と普及	0.22	- 0.08

	満足度	優先度
・ 24 図書館の運営	0.62	0.20
・ 25 歴史や文化の伝承・保存・活用	0.61	- 0.22
・ 44 市民活動の活性化	0.07	0.03
・ 45 国内・国際交流の推進と外国人との共生	0.06	- 0.29
・ 46 市民参加と情報共有の推進	0.02	0.22
・ 50 地域自治活動の充実	0.13	0.20

## ■市民意識調査のポートフォリオ分析

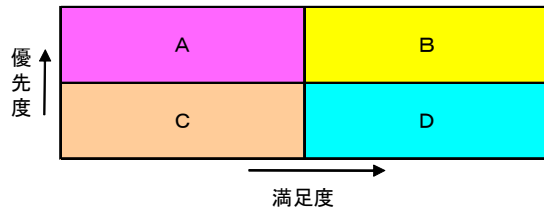


(凡例)

A	B
C	D

Aゾーン: 積極的投資する施策分野  
 Bゾーン: 積極的に現状維持する施策分野  
 Cゾーン: 現状維持する施策分野  
 Dゾーン: 投資量を縮小する施策分野

(2)象限(ゾーン)別の経年変化



区分	H23	H24	H25
Aゾーン	1 子育て・子ども支援 3 地域医療・救急医療 4 市立総合病院 5 国民健康保険 6 障害者福祉 7 高齢者福祉 10 地球環境保全 23 商工業の振興 24 雇用対策・勤労者福祉 28 農業振興 34 防災体制 35 耐震・防災基盤 42 行政改革 43 財政構造改革	5 地域医療・救急医療 7 国民健康保健 12 地球環境保全 26 商工業の振興 27 雇用対策・勤労者福祉 30 農業振興 33 生活道路整備 39 防災体制 40 耐震・防災基盤 48 行政改革 49 財政構造改革	3 子育て環境整備 5 地域医療・救急医療 6 質の高い医療(市立総合病院) 8 障害者福祉 12 地球環境保全 26 商工業の振興 27 雇用対策・勤労者福祉 30 農業振興 31 農商工連携 32 幹線道路整備 33 生活道路整備 34 公共交通 39 防災体制 40 耐震・防災基盤 48 行政改革 49 財政構造改革
Bゾーン	2 保健予防 11 廃棄物処理 15 下水道 16 上水道 17 学校教育 18 幼稚園・保育園 36 消防救急体制 37 交通安全 38 防犯	1 子ども支援 2 親支援 3 子育て環境整備 4 保健予防 6 質の高い医療(市立総合病院) 8 障害者福祉 9 高齢者福祉 13 廃棄物処理 17 下水道 18 上水道 19 学校教育 20 幼稚園・保育園 41 消防救急体制 42 交通安全 43 防犯	1 子ども支援 2 親支援 4 保健予防 7 国民健康保健 9 高齢者福祉 13 廃棄物処理 17 下水道 18 上水道 19 学校教育 20 幼稚園・保育園 21 青少年健全育成 41 消防救急体制 42 交通安全 43 防犯
Cゾーン	26 観光振興 27 中心市街地 29 幹線道路整備 30 生活道路整備 31 公共交通 32 土地利用 33 住宅・宅地 46 広域行政 48 男女共同参画	11 人権・生活保護 29 観光振興 31 農商工連携 32 幹線道路整備 34 公共交通 35 土地利用 36 住宅・宅地 37 中心市街地 38 中山間地 47 高度情報化(ICT)	10 地域福祉 11 人権・生活保護 14 森林・自然 15 公園緑地 28 消費生活 29 観光振興 35 土地利用 36 住宅・宅地 37 中心市街地 38 中山間地 47 高度情報化(ICT) 51 男女共同参画
Dゾーン	8 地域福祉 9 人権・生活保護 12 森林・自然 13 公園緑地 14 公害防止・環境保全 19 青少年健全育成 20 生涯学習 21 スポーツ・レクリエーション 22 歴史・文化 25 消費生活 39 協働まちづくり 40 国際交流・外国人共生 41 高度情報化(ICT) 44 市民参画・情報公開 45 市役所サービス 47 地域コミュニティ	10 地域福祉 14 森林・自然 15 公園緑地 16 生活環境(公害防止) 21 青少年健全育成 22 社会教育 23 スポーツ・レクリエーション 24 図書館 25 歴史・文化 28 消費生活 44 協働まちづくり 45 国際交流・外国人共生 46 市民参画・情報公開 50 地域コミュニティ 51 男女共同参画	16 生活環境(公害防止) 22 社会教育 23 スポーツ・レクリエーション 24 図書館 25 歴史・文化 44 協働まちづくり 45 国際交流・外国人共生 46 市民参画・情報公開 50 地域コミュニティ

### (3)「満足度」の経年変化

### ■考察

順位	H23	H24	前年との 順位比	H25	前年との 順位比	分野	「満足度」の経年変化における特筆点
1位	上水道	上水道	→	上水道	→	保健医療福祉分野	全体的に満足度の順位が大きく下がった。「人権・生活保護」のみ満足度の順位を上げた。分野全体の満足度は、23年度 0.00 24年度 0.29 25年度 -0.05と今年度はマイナスとなった。
2位	廃棄物処理	図書館	←	廃棄物処理	↑		
3位	学校教育	廃棄物処理	↓	図書館	↓		
4位	歴史・文化	学校教育	↓	歴史・文化	↑		
5位	生涯学習	市民参画・情報公開	↑	消防救急体制	↑		
6位	スポーツ・レクリエーション	歴史・文化	↓	学校教育	↓		
7位	保健予防	保健予防	→	下水道	↑		
8位	下水道	子ども支援	←	生活環境(公害防止)	↑		
9位	森林・自然	親支援	←	保健予防	↓		
10位	消防救急体制	消防救急体制	→	社会教育	↑		
11位	消費生活	高齢者福祉	↑	子ども支援	↓	環境生活分野	今回分野が2分された。「上水道」「廃棄物処理」などの衛生関係の満足度は上昇したものの、「公園緑地」などの自然関係の満足度は中位であった。分野全体の満足度は、23年度 0.39 24年度 0.35 25年度 0.25となっている。
12位	地域福祉	スポーツ・レクリエーション	↓	スポーツ・レクリエーション	→		
13位	市民参画・情報公開	質の高い医療(市立総合病院)	↑	地域コミュニティ	↑		
14位	公園緑地	地域福祉	↓	青少年健全育成	↑		
15位	交通安全	下水道	↓	防犯	↑		
16位	公害防止・環境保全	社会教育	←	協働まちづくり	↑		
17位	地域コミュニティ	障害者福祉	↑	国際交流・外国人共生	↑		
18位	青少年健全育成	消費生活	↓	親支援	↓		
19位	協働まちづくり	生活環境(公害防止)	←	市民参画・情報公開	↓		
20位	市役所サービス	青少年健全育成	↓	交通安全	↑		
21位	人権・生活保護	国際交流・外国人共生	↑	幼稚園・保育園	↑	産業経済分野	産業経済分野は、毎年、下位に多く位置している。今年度は、「農業振興」以外はすべて順位を落としている。特に、「消費生活」は大きく下がった。分野全体の満足度は、23年度 -0.35 24年度 -0.07 25年度 -0.47となっている。
22位	防犯	協働まちづくり	↓	高齢者福祉	↓		
23位	幼稚園・保育園	公園緑地	↓	国民健康保健	↑		
24位	高度情報化(ICT)	交通安全	↓	公園緑地	↓		
25位	国際交流・外国人共生	幼稚園・保育園	↓	地域福祉	↓		
26位	住宅・宅地	男女共同参画	↑	住宅・宅地	↑		
27位	生活道路整備	森林・自然	↓	高度情報化(ICT)	↑		
28位	子育て・子ども支援	防犯	↓	森林・自然	↓		
29位	地球環境保全	子育て環境整備	←	質の高い医療(市立総合病院)	↓		
30位	広域行政	地域コミュニティ	↓	人権・生活保護	↑		
31位	障害者福祉	高度情報化(ICT)	↓	男女共同参画	↓	都市基盤分野	「住宅・宅地」「幹線道路整備」「生活道路整備」「土地利用」などの基盤整備関係は順位が上がったが、「中山間地」「公共交通」「中心市街地」は順位を落としている。分野全体の満足度は、23年度 -0.13 24年度 -0.19 25年度 -0.44となっている。
32位	国民健康保険	国民健康保健	→	幹線道路整備	↑		
33位	高齢者福祉	人権・生活保護	↓	防災体制	↑		
34位	幹線道路整備	地域医療・救急医療	↑	地球環境保全	↑		
35位	観光振興	住宅・宅地	↓	障害者福祉	↓		
36位	男女共同参画	地球環境保全	↓	生活道路整備	↑		
37位	農業振興	農商工連携	←	消費生活	↓		
38位	土地利用	幹線道路整備	↓	子育て環境整備	↓		
39位	防災体制	観光振興	↓	地域医療・救急医療	↓		
40位	地域医療・救急医療	生活道路整備	↓	農業振興	↑		
41位	耐震・防災基盤	商工業の振興	↑	土地利用	↑	防災危機管理分野	全体的に満足度が上昇した。東日本大震災以降の各種防災対策が浸透してきたためではないかと考えられる。分野全体の満足度は、23年度 0.05 24年度 0.07 25年度 -0.02となっている。
42位	行政改革	中山間地	←	耐震・防災基盤	↑		
43位	公共交通	雇用対策・勤労者福祉	↑	行政改革	↑		
44位	商工業の振興	防災体制	↓	農商工連携	↓		
45位	市立総合病院	農業振興	↓	観光振興	↓		
46位	財政構造改革	財政構造改革	→	中山間地	↓		
47位	雇用対策・勤労者福祉	耐震・防災基盤	↓	財政構造改革	↓		
48位	中心市街地	中心市街地	→	商工業の振興	↓		
49位		行政改革	↓	雇用対策・勤労者福祉	↓		
50位		公共交通	↓	公共交通	→		
51位		土地利用	↓	中心市街地	↓	協働・広域・行政分野	毎年上位であった「市民参画・情報公開」が大きく順位を落とした。「地域コミュニティ」「協働まちづくり」など、市民との協働関係の満足度は上昇しているが、「行政改革」「財政構造改革」などの行政関係項目は下位である。分野全体の満足度は、23年度 -0.14 24年度 0.14 25年度 -0.13となっている。

(4)「優先度」の経年変化

■考察

順位	H23	H24	前年との 順位比較	H25	前年との 順位比較	区分	「優先度」の経年変化 における特筆点	コメント
1位	耐震・防災基盤	耐震・防災基盤	→	子ども支援	↑	第1位 グループ	平成23年度、24年度の 防災優先傾向はいつた ん落ち着き、子ども支援 や医療体制が上昇し た。また、消防救急体制 もこのグループに再び 入った。	防災関係、地域の医 療体制、子育てに関す る関心が引き続き高 い。
2位	地域医療・救急医療	防災体制	↑	耐震・防災基盤	↓			
3位	防災体制	子ども支援	→	地域医療・救急医療	↑			
4位	市立総合病院	地域医療・救急医療	↓	防災体制	↓			
5位	子育て・子ども支援	子育て環境整備	→	子育て環境整備	→			
6位	消防救急体制	防犯	↑	質の高い医療(市立総合病院)	↑			
7位	幼稚園・保育園	質の高い医療(市立総合病院)	↓	幼稚園・保育園	↑			
8位	雇用対策・勤労者福祉	幼稚園・保育園	↓	消防救急体制	↑			
9位	学校教育	障害者福祉	↑	防犯	↓	第2位 グループ	保健医療福祉分野の優 先度が高いことがわか る。雇用対策、学校教育 も常に上位に位置してい る。	健康で安心・安全・安 定的な生活に関わる 施策の優先度が常に 高い。
10位	財政構造改革	上水道	↑	学校教育	↑			
11位	障害者福祉	雇用対策・勤労者福祉	↓	障害者福祉	↓			
12位	高齢者福祉	消防救急体制	↓	雇用対策・勤労者福祉	↓			
13位	上水道	保健予防	↑	国民健康保健	↑			
14位	保健予防	高齢者福祉	↓	高齢者福祉	→			
15位	防犯	学校教育	↓	親支援	↑			
16位	地球環境保全	国民健康保健	↑	上水道	↓	第3位 グループ	「農業振興」、「交通安 全」が常に位置してい る。「公共交通」がこの グループに上昇してきた。	産業経済、都市基盤 関係の中でも、生活に 身近な項目が位置して いる。
17位	商工業の振興	廃棄物処理	↑	保健予防	↓			
18位	行政改革	親支援	→	財政構造改革	↑			
19位	廃棄物処理	生活道路整備	↑	農業振興	↑			
20位	国民健康保険	財政構造改革	↓	公共交通	↑			
21位	下水道	農業振興	↑	商工業の振興	↑			
22位	農業振興	地球環境保全	↓	交通安全	↑			
23位	交通安全	交通安全	→	生活道路整備	↓	第4位 グループ	第3位、第5位グループ から移動してきた項目が 多く、年度により変動が ある。今年度は「青少年 健全育成」が順位を上 げ、環境関係が順位を 下げている。	このグループまでが優 先度平均値より上位に 当たる。
24位	中心市街地	行政改革	↓	地球環境保全	↓			
25位	青少年健全育成	商工業の振興	↓	廃棄物処理	↓			
26位	地域福祉	下水道	↓	青少年健全育成	↑			
27位	生活道路整備	公共交通	↑	下水道	↓			
28位	幹線道路整備	人権・生活保護	↑	農商工連携	↑			
29位	消費生活	農商工連携	→	行政改革	↓			
30位	公共交通	地域福祉	↓	幹線道路整備	↑	第5位 グループ	「中心市街地」の優先度 が引き続き低めである。 保健医療福祉分野で も、「人権・生活保護」 「地域福祉」がこのグ ループである。	「中心市街地」は満足 度・優先度とも低くなっ ている。
31位	人権・生活保護	幹線道路整備	↓	人権・生活保護	↓			
32位	公害防止・環境保全	青少年健全育成	↓	地域福祉	↓			
33位	観光振興	森林・自然	↑	森林・自然	→			
34位	市役所サービス	消費生活	↓	生活環境	↑			
35位	生涯学習	公園緑地	↑	中心市街地	↑			
36位	公園緑地	生活環境(公害防止)	↓	公園緑地	↓			
37位	男女共同参画	中心市街地	↓	観光振興	↑	第6位 グループ	「市民参画・情報公開」 「土地利用」が上がり、 「地域コミュニティ」「消 費生活」が下がっている。	緊急性が低いものが 集まる傾向にある。ま た、満足度が3位の 「図書館」はこのグ ループに位置してい る。
38位	森林・自然	地域コミュニティ	↑	土地利用	↑			
39位	市民参画・情報公開	図書館	→	市民参画・情報公開	↑			
40位	広域行政	観光振興	↓	消費生活	↓			
41位	地域コミュニティ	協働まちづくり	↑	図書館	↓			
42位	土地利用	土地利用	→	地域コミュニティ	↓			
43位	協働まちづくり	中山間地	→	中山間地	→			
44位	スポーツ・レクリエーション	市民参画・情報公開	↓	男女共同参画	↑	第7位 グループ	毎年、生活に直結しない 項目が位置している。今 年は「国際交流・外国人 共生」が最下位。	このグループは優先 度の評価点がマイナス となっている施策なの で、市民は優先する必 要性はないと感じてい ることがうかがえる。
45位	歴史・文化	男女共同参画	↓	協働まちづくり	↓			
46位	住宅・宅地	スポーツ・レクリエーション	↓	社会教育	↑			
47位	高度情報化(ICT)	高度情報化(ICT)	→	スポーツ・レクリエーション	↓			
48位	国際交流・外国人共生	住宅・宅地	↓	高度情報化(ICT)	↓			
49位	国際交流・外国人共生	国際交流・外国人共生	↓	住宅・宅地	↓			
50位	歴史・文化	歴史・文化	↓	歴史・文化	→			
51位	社会教育	社会教育	→	国際交流・外国人共生	↓			

### 第3章 自由回答結果（主な意見・「他〇件」は同様の意見の件数）

#### 【保健医療福祉分野】

- ・子供を安心して産み育てることができる環境整備。子育ての支援体制の整備。（他6件）
- ・公園が少ない。ちょっとしたスペースに子どもが安心して遊べる広場がほしい。小さい子供が遊ぶところが少ないので整備してほしい。（他8件）
- ・こども医療の無償化を検討してほしい。（他5件）
- ・市のホームページで子育て支援センターの月間予定表が閲覧できると便利でうれしいです。
- ・不妊治療・妊婦の補助券など、もっと助成できるようにしてほしい。（他1件）
- ・子供が遊べたり学べたりする施設がもっとあるとうれしいです。
- ・もっと生活が苦しい人などの話を聞いてあげたり対応しないかぎり子どもをまともに育てられる地域にはならないと思うのでそこら辺から改善してもらいたい。
- ・親が子どもへの虐待等のニュースを聞くと切なくなります。親が息抜きの出来る場所が必要だと思います。子育て支援等へ来てくれる親子はいいですが、そこへこれないような人が本当は来てほしいです。（昔の田舎では小さい子どもからお年寄りまで全員が話をして声をかけあった）
- ・以前、こどもの病気が急変して悪化したとき、「救急車の対応をしてみることが難しい」と電話で断られた。どうしたらいいのか大変困った。お医者さん不足で大変だとは思いますが、断られて不信感が残っている。5月から中東遠総合医療センターが開院してこのような事がもう起こらないよう対策してほしい。
- ・風疹が流行、若者達にも20歳、30歳の時に抗体があるのか検査をすすめるとか補助をだすとか考えて欲しい。
- ・子供の予防接種、肺炎球菌、おたふく、水ぼうそうなど無料化してほしいです。（他1件）
- ・乳がん健診を30代から無料もしくは安く（子宮頸がん並）してほしい。取り組みがほぼ分からない。浸透していない。
- ・健康づくりのための講座などをもっとやって欲しい。
- ・子どもが食物アレルギーを持っています。アレルギーの子でも安心して暮らせるように専門医療の充実や救急医療体制の充実を希望します。
- ・中東遠総合医療センターを早速利用したが、立ち上がったばかりとはいえ対応が万全ではない。もう少し体制を強化してほしい。（他4件）
- ・市立病院の移転（統合）が成功するよう期待しています。（他4件）
- ・5/1に中東遠総合医療センターが開院し、これから活用していきたいので、広報かけがわでもっと詳しく詳細を教えて（載せて）ほしい。
- ・私は高齢者です。新病院ができてとてもいいことだと思いますが入院したら2週間しかいることができないとのこと、とても心配になります。なぜそんなことするのかと思います。
- ・中東遠総合医療センター開院に当たり、小笠パーキングにスマートインターを設置してほしい。
- ・開業医と中東遠医療センターの連携、地域の福祉施設との連携を密にし、在宅や施設、老健病院へスムーズな流れをお願いしたい。
- ・市立病院跡地利用の（希望の丘）充実完成に期待しています。掛川市長さんに応援と信頼しています。
- ・中東遠総合医療センターの夜間（急患）受入体制の早期充実を図ってください。
- ・土日、夜間の病院では全く分からないような医師で分野が違うせいか「多分」を連発することもあり不安になる。処方された薬も別の日に違う病院で見てもらうと、副作用の健康被害の大きなものだったこともあり、市民

病院は信用できなかった。体制も悪い。新病院は期待できるものなののでしょうか？

・医療センターが新しくできましたが、他県からの転入者で地域にも乏しい為、又1人くらしの為に急病の時が不安に思っています。交通機関、車で行く方法、もっと身近に示して頂きたいと思えます。

・国民健康保険、介護保険他税金は今以上値上げしないで下さい。

・国民健康保険の徴収や医療費の給付等はいいと思うが医師側からは無駄な薬の処方が多いと思える。生活保護者への支援は不必要。

・母子家庭の人への国保の金額を無料、あるいはもっと安くしてほしい。

・医療費による市の財政悪化。これにどのように対応するのが問題ではないでしょうか。治るの低い治療や薬の使用を止めること、精神疾患への投薬によって患者数が倍増していることを真剣に受け止め、対処してほしい。

・精神に障害がある人でも気持ちよく生活できるまちづくりをして欲しい。

・高齢者の介護施設に比べ、障害者の施設があまりにも少ないと感じています。コーディネーター、ショートステイ、緊急時支援サービスなど足りないものだらけです。

・60歳になると市では60歳の集いなるイベントを行っている。一方私の住む地区では60歳から半強制的に老人クラブに加入しなくてはならないような状況である。聞くところによると加入率を市内の各地区のデータがあり影響していると聞いた。老人クラブの60歳加入は時代に逆行しているのではないか。年金も65歳にならないともらえない。また65歳まで企業には雇用するよう法律が変わったなかで60歳とはおかしい。70歳以上でよいのではないか。行政の指導をお願いしたい。

・高齢者が安心して老後を過ごせる掛川市であってほしいです。(他4件)

・高齢者施設の建設、入居時の生活内容の充実。(他5件)

・掛川の高齢者の元気な事にはびっくりしました。彼らのエネルギーで何かできればと考えるのですが。

・ボランティアで、福祉施設、児童館などの応援をしてくれた人には、クーポンやポイント制で楽しみを作り、自分が後に介護を必要となったり、孫、子供が児童館を使用する様になったときに、そのクーポンやポイントを還元できるような制度があればいいと思う

・まちづくりとは少し違いますが、生活保護を必要としていて、今少し生活保護で助けてあげて頂ければ復帰できる人がいるのですが、残念ながら、とても安心して相談出来る民生委員さんではなくて、苦しんでいる人がおります。身近で個人でも相談出来る場所をわかりやすく(誰にでも)知らせていただける方法をお願いしたいですね。

・人権尊重が社会の発展、行政の最終目標だと考えます。意識啓発の掛け声ばかりでなく、行政が具体的に施策を行うことが要請されます。老人、子供、その他の弱者に目線を置いてほしいと思えます。小地域の自治活動も現状の構造のままでは行政の支援も名目だけになってしまいそうです。



### 【環境生活分野】

・太陽光発電、風力発電が普及され、あちこちに設置されましたが、結果はどうなのでしょう？電力のデータを知りたいです。

・原発は未来の人類のためにも廃炉すべき。そして水力、火力、風力などを広めていき、これらの支援をするのが良いと思う。太陽パネルの支援金を増やすなど。

・焼却炉の一層の高性能化(家庭ごみの不法投棄の多くの原因は分別が煩雑すぎるためである)

・ゴミの分別に関しては市内均一ではないのですか？旧掛川市とは違うようなことを耳にしました。

・とても残念だった:それは岩手、宮城のがれき処理に掛川が参加しなかったこと。困窮している東北の人々を助けようと手を挙げない掛川、お互い様ではないか。台風がすぎるのをやり過ごすようなリーダーシップのない掛川市にどんなまちづくりを期待できますか。この件では肩身の狭い思いをしました。(他1件)

・クリーン推進員に一年間あたり、ゴミの出し方のひどさに驚いた。アパートの方が多地域だからか、毎回守られていないゴミがあった。派遣社員の方など住民登録をされない方もあるようで、ゴミ出しのマナーが誰にでも分かるようにするのが大事だと思う。絶対にもうこの係になりたくないと思った。

・大手スーパーの回りのゴミの多さにはへきえきしてます。もっと地域の美化運動を奨励すべきです。雑紙の回収に問題があります。トイレトペーパーなどの芯は紙袋にいれても束ねにくく工夫が必要です。巾着のように口で縛る紙袋を市で売り出したらどうでしょう。

・ごみに氏名や住所の記入することは取りやめて欲しい。

・ゴミの不法投棄に問題を感じます。

・公園草刈、除草剤は使用しない様にしてください。

・旧大東のピア公園の噴水。使ってなくてもったいないので水遊び場にして欲しい。遊具も増やして欲しい。買い物かごで遠くからくる人たちもいるし。

・掛川駅北口樹木の伐採及び鳥のフンによる悪臭、イメージを悪くしている。

・公園管理等を含む住民の意見が反映されているか(必要性も含めて)

・バスケットの出来る公園をいっぱい作ってください。

・ペットと自由に遊べるドッグランのような公園が欲しい。高齢化、少子化の中、ペットと家族のように暮らす人が増えている。多くの公園では、ゲートボール、グランドゴルフ等お年寄りが利用する場所は確保されているが、ペット向け広場を見たことがない。おそらく動物に対する苦情対策でペットを放せないようにしているのだろうが、マナーを守りしつけもきちんとしている飼い主がほとんど。もう少し寛容になって欲しい。

・公園の遊具が少ないなあと思う。もしくは古い。

・駅前に大きな公園をつくる。広場もあり雑木林も池もある。屋根つきのベンチなども作る。お休み処もつくる。老人も子育てママも楽しめる場所が欲しい。

・市全体に渡って側溝のにおいと虫が気になる。ゴミにしか力が入っていない気がする。衛生的に悪い。

・観光の振興も大事とは思いますが、掛川で生まれ50年間居住している者にとっては、環境、衛生面で充実を図っていただくよう望みます。たとえば、下水道の整備、ビル建設等による景観の保全等。

・近所で野焼きをたびたびするので困っています。通報したいけれど近所つきあいもあるので通報できず…。そんなときどうしたらいいのでしょうか？

・市街地の河川の汚染対策をして欲しい。

・合併前は下水道が整備されるはずだったのに(それを見越して家屋を建築した)合併浄化槽になってしまった。

・下水工事をしていない方が多く非常に不満です。まだ工事をしていない地域ならわかりますが。工事をして

いる地域でしない人もいるのが残念です。川の水が汚れていますよ。下水工事はしなくてもいいのですか。3人働いている家でも工事しないなんて。掛川の自然を大切にしたいです。

・下水道の工事がまだの地域があると聞いたので、早めに全地域をやってほしいです。

・浄化槽の地域に住んでいるが、以前すんでいた下水道のあるところを比べると、水道代や浄化槽代の金額が高いように思う。

・水道事業について(下水道料金算定方法) 1. 市営の水道水のみ使用している家庭。2. 水道水の使用料に対して下水道料金が計算している。3. 自家水を使用し、風呂以外に利用して家庭は水道料金が少額で計算される。4. 下水道料金は水道料金が少額のため、下水道料金安価で計算される。5. 家族の人員によって下水料金を算定し徴収することを考えてはと思います。以上。

・上水道の地震時のリスク管理は？

・(旧大須賀に)下水はムダ、浄化槽で対応できる田舎。

・水道代が高い。(他1件)

### 【教育文化分野】

・まちづくりかどうか分かりませんが、先日、市内の中学校が修学旅行で新幹線に乗っていく時、同じ車両(指定席)になりました。団体行動でのマナーが全くできていない学生が多く、とてもうるさかったです。私も含めサラリーマンの方も学生や先生に中止をしましたが、全く聞き入れてもらえませんでした。制服を着て行動することは学校、市を示していることになりますよね。教育委員会へ電話すると言ったら、先生が少しだけ注意をしていましたが、もう少し学校教育へも力を注いでいただきたいです。

・まちづくりの基本は人づくり。人づくりの基本は教育です。これからの掛川市を担う子ども達の成長のため私たちができることを考えたい。35 人学級の実現、教員、講師の人数増加等、目指す教育増に近づけて欲しいと思います。掛川が大好きな私は、掛川が大好きな子どもが増えれば良いと思います。

・子ども支援も大事だと思うけど、給食費を払わない家庭があると聞くとそういった方へ支援した方がいいと思うし…(お金ではなく給食費や、せっかく静岡空港もできたのに、修学旅行で他の空港を使うなんてばかっている。

・いじめ絶無に向けた対策(教職員の質向上)

・子ども達のほがらかな顔を見たいですね。そして明るくあいさつをして町に元気をもたらせ、いつもきれいな心が持ち続けるよう、子ども達から未来をもたせたいと思っています。

・教育者として地元へ貢献ができるような先進的な人材を育てたいです。

・小・中・高校生をまち全体で守り育ていく環境と仕組みをお願いします。

・親に対するセミナー、ぜひやって欲しいです。育て方(褒め方、励まし方、しかり方)が分からぬ親がたくさんいるように思います。

・子どもは遊びから生活を学ぶと言われたようにもっとまわりの人達が自分が遊ぶ気持ちになって考えてみる。子ども目線。

・子どものすこやかな成長には大人の成長が必要と思う。人間づくりが地域の環境づくりではなかと思う。競争社会では信頼関係の構築は難しい。

・親だけでなく、学校にもかなりの問題があります。いやしくも教育者ならば、もっと子どもが成長するように教え方を工夫すべきです。創造性をわざわざ壊すような学校教育や教師には疑問を感じます。提案をしても、「大変だから」の一言で片付けられてしまうのは残念です。

・学校給食ではお弁当を持参しています。アレルギーの除去の対応や知識を持っている人の育成に力を入れて欲しいです。

・子ども達の教育面では報徳精神を学ばせて他の町の教育とは格段優れています。更に伸ばして欲しいですね。

・学校図書室に全校司書を配置するべきだと思う。

・学校施設を充実させたい。これからの子どものためなので。

・行政の重点事項は教育である。子育てができなくて国は成り立つのか。

・保育園を増やす等して待機児童を減らすよう改善してもらいたい。(他9件)

・保育園に預けていても、18:00 以降は別でお金がかかったり、学童は 18:00 までだと働いている人たちは困る人もいます。

・「すこやか民営化」即してください。私は 3 万円出しても私立より公立幼稚園に子どもを通わせたいです。「みかさ、逆川、すこよかの3園」は、新施設利用料として 3000 円は値上げすべきです。なぜ大東大須賀地域と同じにすることにこだわるのか分かりません。できなければ、公立幼稚園は無くして、すべて公立保育園にしてください。月々1万円か3万円は大きな差です。不平等のある掛川は、子育てしにくい街です。

・上西郷地区の幼稚園の拡充をお願いします。(子どもが多く、入れない子が出ています。)

・小学校や中学校の学区内の保育園に入園できる方が子どもが友達と長く一緒に居れる。幼稚園よりも保育

園をふやしてほしい。

・待機児童のことがばかり取り上げられがちですが、保育士も家庭を持っている労働者だということを考えていただけたらありがたいです。掛川で働いたことはありませんが有休などしっかりとれているのでしょうか。

・住みやすい市だと思います。保育園、幼稚園をもう少し増やしてもらいたいです。

・保育園への入園申込について、内定が取れた状態でなければ保育園に申込ができないことは大変に不満がある。夫婦と子供の家庭に関しては、仕事を最初に決めてから保育園に入園させることは不可能。無認可に入れば良いという考えには同意できない。豊かなまちづくりのためには、まず根本になる幼稚園、保育園について考え直してほしい。(私立幼稚園よりも公立が良いはず)

・保育料が高すぎる。

・校区の公立の幼稚園には人数オーバーすることな希望者は入園を認めるべきである。校区なのに抽選で当落があるなんてあり得ない。こんな意見を言っても届かないのだろうが…そこが期待できない掛川市…幼児を持つ親として一番優先して欲しい問題である！”

・公立と私立幼稚園の保育料の差を縮める努力を早くして欲しい。

・子育てのしやすい町にしてください。保育園、幼稚園を充実させてもらいたい。災害時、安心できる町になって、子供からお年寄りまで安心して暮らせたらいいなと思います。

・今は共働きの家が多いので子供を 1 日預けられる保育園や託児所や幼稚園の延長保育をしてくれる場所を増やしてほしい。

・保育園の数が少なく、なかなか入所できない。幼稚園に通わせたくても金額が高く、子育てへの不安が多いため。子どもをたくさん産めない。安心して子育てできる掛川市にしてほしいです。とにかく待機児童の問題をどうにかしてほしい。妻はフルタイムの勤務を希望しているが実現できていない。

・図書館を年中無休にしてほしい。

・図書館の駐車場は北側だけですか？館内で寝ている人、新聞を読んでいる人様々ですが効率が悪い気がします。図書館に新聞は必要ないと思います。佐賀県武雄市のいいとこどりをしてみてもいいと思います。

・図書館の開館が 17:00 までとなっているにもかかわらず、16:45 から閉館の準備に入ることをやめてほしい。

・図書館を週末利用したくても満車で入れず、利用をあきらめてしまうので、駐車スペース拡大希望

・掛川城だけでなく歴史的にも非常に興味深い高天神城を観光面でも教育面でももっと活かした方がいいでしょう。郷土への愛着は、片寄った教え方からは生まれにくいと思います。

・地域文化を大切にしてほしい。郷土芸能の補助金がけずられており、その活動が消滅しつつある団体もあるようです。昔からの文化を大切に、心の豊かさを大切に守ってほしい。

・大須賀の城跡の桜・梅等の木の管理等をもっと力を入れ、桜の咲く頃の楽しみをもっとみんなに味わってほしい。肥料やり、消毒等を考えてほしい。

## 【産業経済分野】

- ・回転寿司、ファミレスをもっと増やして欲しい。(他1件)
- ・他市のように大型ショッピングセンターを誘致し雇用と税収と知名度のランクアップを図ってほしいと思います。(他3件)
- ・南部地区へ大型スーパーマーケットを造ってもらいたい(衣・食・スポーツ店等)
- ・商店街が寂れていて行くこともない。夜、道の街灯が少なくらいと感じる。町自体の魅力があまりなくつまらない。(他1件)
- ・掛川駅周辺や中心市街地はお店等充実しているように思いますが、沿岸地域(150号線沿い)は通っていても淋しい限りです。交通量はあるのに寄りたいたいと思うお店、施設などなく素通りするだけになっているようでもったいないなと思います。
- ・地域毎の競争心を盛り上げ地域毎の商品造成、毎週開催される地域別2箇所のフリーマーケット、農産物販売、お祭りの要素の造成。
- ・企業誘致に努め雇用人口増加を目指すまちづくり理想。(他7件)
- ・新幹線、東名、新東名が通っており、東京、名古屋のほぼ中央に位置しながら若者の働く場所があまりに少ない。例えば掛西を卒業した者はほぼほかの地域で活躍している。こうした若者が地域に根付かないと地域は発展しないし財政も活発化しないと思う。財政が厳しいことは理解するが将来のために企業が進出しやすい環境を提供すべきと思う。また、農業にしても高齢化が進んでおりこの分野においてもこれまでの個人経営的な考え方を変えて、経営手法、若者の働ける環境整備が必要と思います。購買力のある活気のある若い世代が増えれば”オシャレ”なお店は勝手に街中にできるし市街地も活性化すると思います。
- ・若者が掛川で自分の力を発揮できるようになって欲しい。若者の雇用拡大を希望します。(他4件)
- ・労働基準を守っていない会社に対してなぜ何もしないのですか？有休があるかも分からない。産休も取れない。これが普通ですか？市としてどう考えているのですか？
- ・子育てが落ち着いた人達の仕事場を(正社員として)もっと斡旋してほしいです。特に子どもを育てて社会から遠く離れてしまった中での社会復帰の充実をお願いします。
- ・年金をあてにせず、高齢者であっても働いて暮らす。(他1件)
- ・医大薬学部を目指す高校生のために、専門の予備校を誘致して欲しい(浜松、静岡、他県まで行く子どもが多いです)
- ・他県の大学、専門の学生が、地元掛川で就職したくなるような魅力ある企業の誘致をして欲しい。
- ・若い世代の人に住みついてもらえるような街にしていけるといいと思うので、保育園の充実、産休制度のある会社(働き先)を増やしてもらえると住みやすくなると思う。
- ・雇用対策、内職相談など、市としてこんなことができますか？ハローワークの運営が労働者向きですか？
- ・子供がいても仕事ができる職場が欲しいです。働きたくても、働けないのが現状。もう少し子供を持つ母親の気持ちを雇う方も理解して欲しいです。
- ・掛川の郷土の歴史、文化、観光の外部の人へのアピールの工夫。ホームページや広報。
- ・ゆるキャラブームなので、「ちゃのみやきんじろうくん」を市のイベント以外にも幅広く利用して「掛川」=「ちゃのみやきんじろう」を大勢の人に知ってもらう。
- ・観光は、名所めぐりではなく生活環境に接することができる心温まる観光事業、魅力づくり、ホームステイ等。
- ・新幹線が停車するのにそのメリットを活かしきれていないと思う。(例)新幹線前にある売店のお弁当の魅力アップ希望(もっと地元ならではの弁当を入れてもいいと思う。)おいしそうなお弁当も欲しい。B級グルメを

打ち出して富士宮焼きそばのように魅力的なグルメ考案、イベントの参加。掛川祭はあれだけ大規模な祭りでありながら全国的に知られていないのが残念。海外の人のみならず他県からの人も魅力に感じると思う。商店街マップ、掛川のお店を紹介する冊子の作成。

・掛川市のホームページは内容が充実していてネット時代の現代に対してとても良いと思う。観光地（駅から離れている場合）まで送迎バスなどがあるのもいいかも知れない。

・グリーンツーリズムができる土地があるのに全てを住宅化するのはもったいない気がする。PR方法を別の切り口で見たら掛川の魅力のある部分もある街だと思ふ。好きだからこそ活性化してほしいです。

・駅の自転車置き場1500円／月は都会並です。人件費でしょ。管理人いらぬ。愛野駅を見習おう。

・掛川城に観光客を呼ぶ為のまちづくりが必要（特に商店街）お茶の町をもっとアピールするべき。

・町の中のことはよくわかりませんが、よく掛川公園に散歩に行きます。でも池の中の水がとても濁ってます。中には色々な生き物が来ます。上の池の2つにも、亀も沢山います。両方もう少し手をかけて綺麗にしてください。観光で皆様も沢山見に来てます。喜んで帰ってくださるよう、又エサも規定に。人間も生き物も大好きなのでお願いします。

・観光にはもっと力を入れてもいいと思う。例えば市役所や資生堂、図書館、ねむの木美術館と現代建築、横須賀や城を巡る歴史建築を関東、関西の美芸大建築関係の専門学校に宣伝するなど。

・イベントに関して、イベントをするとなると掛川市街となるが、それでは大東地区や大須賀地区の人たちは参加しにくく身近に感じられない。そのため大東地区や大須賀地区でも大きなイベントを開催していただきたい。

・のどかでよい街ですが、せめて、もう少し街を活性化しないと人口減少、高齢化が拡大するでしょう。APバンドのようなたのしいイベントをもっと多く取り入れ、のどかさや華やかさを両立させて欲しいです。今後もよい市政をお願いします。

・空き屋や荒れている農地があるのなら、空き屋と古民家に改装して、体験型の宿泊施設があり、農業体験や昔の人々の知恵を教えてもらえる所があるとうれしいです。もしも災害なので、電気、水道など止まってしまってもとても力強いと思います。是非旧大東町でお願いします。

・高齢化社会の進展に伴い、市内の各所に耕作放棄地が増えている現場がある。耕作放棄地の有効利用について今後真剣に考えることが必要ではないか。（他3件）

・わが家は子ども達も巣立ち、主人と二人暮らしです。土地・家の相続も終え、後に残ったのは借金と固定資産の払いです。よい土地活用はないものではないでしょうか。農業で若い人たちが魅力ある生活ができる手立てはないでしょうか？又は土地活用で老人施設など地域ぐるみで出来ないでしょうか！

・お茶の値段を何とかしてほしい。食べていけない。年金等をもらっている人はいいが40代・50代の人やらない、手伝わないというのは採算が合わない。今後2年3年で畑はあちこち荒れると思う。掛川茶はなくなる。毎年値が下がり間屋はよいが生産者はもううんざり。

・定年後の生きがいのため、農業をできるよう、農業者資格のない人でも500㎡以下位までの農地取得を認めて欲しい。（真実耕作しているかどうかの事後点検を行う等により）これにより遊休農地の減少になると思う。借用地と自らの土地とでは、その愛着、意気込みも違うと思う。



### 【都市基盤分野】

- ・渋滞緩和の整備を期待します。(他3件)
- ・道路の舗装をなんとかしてほしい。(他5件)
- ・合併時の公約、南北幹線道路を速やかに完成させて欲しいと思います。(他2件)
- ・実家が島田・焼津方面の為、南部から抜ける道路がほしい。又、私の会社は島田地区から大東地区へ通勤している人が多いため、道路が欲しい。
- ・掛川市街地や北西部はまちづくりの計画によって潤っている。南部はどうなっているのか見えてこない。道路も工事や地盤の悪さだけでなく大型トレーラーの通行を制限すべき場所がある。小笠山東側～花鳥園西側までの道路(道路の幅狭い、多雨量時水はけ悪い、路面がひび、穴、へこみ)。
- ・エコパー掛川インターの道路4車線化してください。朝の渋滞、混雑時のつまり方がひどい。
- ・新東名開通に伴い掛川PAが設置されましたが、案内標識が見当たらないと思う。また市内からPAまでの道路が不整備(一部工事用道路はある)のため、一寸買物でも思っても不便をしている。また近くの温泉地やねむの木学園等をPA経由の循環バス路線を設定し観光客の誘致ができないか検討されたい。
- ・西郷の県道？歩道整備が一部まだ完成していないので、交通ラッシュの際とか夜間歩行に危険性を感じます。すで5ヶ月ほったらかしで。何とかしてください。
- ・東名高速小笠サービスエリアのスマートインター化を求めます。病院利用のためにも、掛川IC・袋井IC←→小笠サービスエリアを無料にするなどもっと活用したほうが良いと思います。
- ・新東名とか「西の市」ができて県道81号線、遊家付近から原谷へぬけるあたり車が増えた。曲がりくねっていて危ない。何とかならないものか。
- ・南北道(県道)の上内田、大東地内の歩道の整備(中学生・高校生の通学が危険のため。)
- ・上屋敷区と七日町にかかる前側橋を広くしてほしいです。
- ・交通手段の不満をなくしてほしい。大須賀地区から掛川駅・病院等へのアクセス道路が不便である。高年齢になるとバス利用が必要であり、時間がかかるのと、バスの回数が少ない。
- ・高架下の道路の整備。一方通行にするか、車の通行禁止にしないと狭く、事故があっても仕方が無いような所もある。掛川スイミングスクールの前にある道路(坂道)も自転車用やベビーカーでも通れる幅が必要。危険。学校外にある学童は、子どもが近くの道に広がって遊んでいることが多く、注意喚起する大人がいないことも多く危ない。
- ・河川にかかる橋の老朽化の修繕、掛け替え。
- ・自転車通勤しやすい道路の整備が望ましい。できるだけ市の職員に自転車を利用して道路の確認をしてもらいたい。学生がどのような危険にさらされているか。
- ・新病院へのアクセスをしっかりとってほしい。
- ・大東から掛川市街までの自転車道路の整備をして欲しい。
- ・中東遠総合医療センターまでの道がわかりにくく駐車場に車を止める道もわかりにくい。南北の掛川線を早くつくってほしい。
- ・大東地区は、新東名を利用するにも遠いし、バイパスに乗るのも遠い。
- ・少子化により、遠い小学校へ通う人数が減る傾向。今は6年生たちと団体で通えるが、場合によっては6年生が不在であたり人数が少なく見きれないことが予想される。掛川はいなかであり、歩道は狭い。道は暗い。車道と歩道が近い。車の運転が荒く、技量も低い。こんな状況下で徒歩 1 時間もかけて少人数で通うには不安が大きい。不審者も多く、障害を持った方も多い。通学に関しては特に掛川市は危険な町と考えています。道路にはあちこち穴があき、車は穴をよけますよね？その都度、子ども達に近寄る場面をご存知ですか？穴だらけの掛川市、恥ずかしくて嫌な町です。

- ・障害者や自転車を利用する住民、高齢者が通行しやすい道路(段差の解消)を進めていただけるとうれしい。
- ・上張のガードの路面が非常に痛んでいます。杉谷のオーバブリッジできてからずいぶんたつと思いますが老化が心配。点検しっかり願います。
- ・車一台ぎりぎりの道路が通学路になっていて子ども達は側溝の鉄製溝形蓋の上を100mも歩いている。又側溝のない道は舗装からは外れて田んぼ側の土の上を斜めにかたむきながら歩いている。昼間買い物に行く年寄りの自転車とかセニアカーの後に車が連なってしまう。しっかりと道路を作ってから住宅地を造ってほしい。
- ・道路がどんどん高くなり生活排水が困難になっていることを理解しているのですか？何年経っても改善されず大雨のたびに冠水している。生活排水がスムーズにできないのはおかしい！
- ・道路がとても不便！！本当に必要な所に必要な道路が通っているのか。本当に必要な所が狭かったりしてないでしょうか？
- ・公共交通の整備をして欲しい→大東区域、大須賀区域からの要望が6件、その他が13件。
- ・天津線とのコラボ企画を増やす。双方への利益を考える。
- ・交通弱者への対策をもっと考えて欲しい。車の運転ができるうちはいいが、できなくなると公共施設の利用が困難になる。南部においては、シオーネ(図書館)、シートピア、商業区域(リベロ等)、支所、体育館、老人福祉センター等と地域を結ぶ交通手段が欲しい。
- ・大東地区に在住していますが、病院(新しい)に行く交通機関が十分でないと思う。バス停までの道も遠く、限られた本数でしかバスがないためとても不便を感じる。できれば市内を循環するようなバスが大東町内にあれば助かります。シートピアの無料バスはあるのに、どうして医療機関へ通うバスが無料でないのかが納得できません。もう少し人間に優しいまちにしていきたいと思います。
- ・掛川地域は昔から公共交通の運営が他地域に比べて悪く感じる。近年になり自主運行バスなど市政により公共交通見直しされてきたが、財政事情あり、昔の鉄道会社のバス廃止と同様な結末を招いて次代は繰り返している。弱者への公共交通を今の車社会の中で(車所持の人も公共交通を利用するような)交通整備のあり方を再度見直してほしい。
- ・掛川市内には高等学校から上の大学や専門学校等がなく、どうしても交通に関してお金がかかる。(時間も)特に南部の交通費は莫大にかかる。これは全年代共通。市税金等、市街地より優遇していただきたい。
- ・車が無いと生活できない。掛川に来て1番困ったことです。お年寄りも増えているのに、自分の行きたい場所に移動できないのはとても不便だと思います。自分の足でバスに乗り、買い物や通院ができれば(家族に頼らず)どんなにいいか・・・掛川市市街地循環線の路線を増やして欲しい。たとえば森町方面から掛川駅(桜木地区を通過)
- ・後、公共交通機関が異常に少なく「車」がライフラインとなりすぎている。とても不便です。路線バスの本数やコースの充実を願う。
- ・過疎地のバス運行を見ているのですが、ほとんど乗客がない。もっと他の手段はないでしょうか？
- ・市内巡回バスですが、反対回りの導入されれば、20分ごとになればもっと利用しやすいのではないかと思います。
- ・菊川のように車椅子を無料化してほしい。愛野駅のように掛川駅も駐輪場を使いやすく無慮貸してほしい。
- ・市内、バスの最終時間も早すぎます。仕事に出るなという事？共働きには住みにくい環境です。
- ・土地利用→どこを拠点化するのか、どこを住環境重点にするのか不明。区画整理は作れば良いでは無策。思想がない(都市無計画)
- ・掛川市の北部及び東部の開発を進めて欲しい(差がありすぎる)
- ・空き家、廃屋のとりこわし、若しくは管理をお願いします。ごみを捨てられたり、不審者が入りこんでいたりします。数年前に廃屋の調査で市役所の人 came 来たときにもお願いしたんですが。安心して住めん。



・過疎地に住んでいるため、休耕田や廃屋など目立ちます。それらの再利用のアイディア、PRなどに力を入れ、被災者の援助、雇用につながればと思います。

・猪が畑を荒らすのでなんとかしてほしい。上西郷の山のほうにも住宅地を増やしてほしい。地元に住みたくても土地がないので地方に行くしかなくて過疎化しています。

・市の活性化、駅周辺がもっとにぎわうといいと思います。街中の活性化。(他10件)

・まちづくりに関しては、掛川、大東、大須賀の地域性を大事にしていけばよいのではないかと？掛川駅、インターチェンジはインフラとしては大事だが、掛川駅前だけに重点をおくべきではない。(他2件)

・掛川の中心部が寂しい。大きな店が来ると良いと思う。(大型商業施設の誘致について他8件)

・せっかく新幹線も停まるので、車でなく電車でも来られるアウトレットとなれば市外からの集客は勿論、新たな年齢層を呼び込めるのではないかと思います。お城だけではあまり若い層の人々は来ないですね・・・(アウトレットについて他1件)。

・駅前に駐車場が少ない。(他5件)

・土日に買い物ができる店が駅周辺にとっても少ないため市街ですませることが多いです。掛川にももう少し何か欲しいです。せっかく新幹線があるのにとおもいます。

・駅周辺の整備等に関しては、観光等で来られる人達の印象にも繋がると思うので、郷土的なものや将来性を考えて検討していく必要があってもいいのではないかと考えています。郊外型の都市化が進んでいく中で、中心街となる駅周辺がどうあるべきかを様々な都市モデルや意見といった情報を集めて検討してもいいのではないのでしょうか。”

・けつトラ市は成功、もっと農業者の参加を勧め賑やかにしたら互いに発展する。

・掛川駅北の前ジャスコ跡地が現在駐車場になっていますが、何か魅力ある建物ができないでしょうか。私は60代ですが、学生の頃はジャスコとユニーが駅前にあったのでとても賑やかだったし掛川城へ行く通人も人が大勢行き交っていました。駅前がとても殺風景で残念です。

・まちづくりについて、街中再生をしているが、商店街個々の努力がたりないと思う。市の税金を使ってやる事業ではないと思います。

・連雀の空き店舗を安価に貸し出して個性有る店にしてお客様を取り入れる

・街中の活性化。100円商店街などをやり活性化されたところがあるとテレビでやっていました。工夫をして活性化をめざしてほしい。

・山間部に嫁さんがこないのが困っている。このままでは山間部は絶えてしまいます。山間部に人の住む掛川にしてほしい。例えば①会社を誘致する、②観光地を作る

### 【防災危機管理分野】

- ・「想定外でした」では済まされない重大な事柄が東海地震によって起きる可能性は十分にある是非とも浜岡原発は永久に停止し廃炉にして欲しい。(他14件)
- ・浜岡原発に対して、日本のエネルギー事情を考えれば必要なエネルギーであり、稼働させるべきである。(他3件)
- ・南部地域に住む人の気持ちになって津波対策に取り組んでほしい。(他9件)
- ・同報無線の雑音が大きい。→同報無線への苦情他4件。
- ・同報無線について、お昼に流す市歌への苦情5件。
- ・土砂崩れ危険箇所の整備をしてほしい。危険箇所に住んで居る人で、田んぼなどを宅地に変更できなくて住んでいる人もいたので、宅地に変更することが理由も調べてかんたんに行えるようにしてほしい。
- ・災害、防災、減災に関して:地区ごとの専門的分野の方のアドバイス。
- ・代替電力減としての火力は環境汚染が進みコスト高。・すでに何十年も稼働してしまっている浜岡原発は、使おうが使うまいがとつくの昔から危険。どーせ危険なら使いましょよ勿体ない。と思います。将来、原発を確実に廃炉にできる技術者の育成にこそ、力を傾けるべきだろうと思うのですが…。
- ・重要な案件が多い中ですが、今は無駄になっても地震対策関係を最優先課題にして生命を守ることに力を注がなければならない時代に遭遇しているかもしれない。
- ・防災について、各戸での防災についての備えの件、最小限何と何が必要であるから準備せよとの指示指導があれば用意しやすいと思う。各地域防災へ。
- ・今は地震、地震と言っていますが、私の住んでいる町(七日町、二瀬川町)は低地で、日本列島は集中豪雨がよくあります。その場合の避難場所やボートなど水害対策を知りたいと思います。
- ・防災対策で、避難場所なんですけど、人間だけの事を考えるのではなく、家族同様のペットたちの避難場所の確保、一緒に避難し、生活のできる場所なども考えてもらいたいです。
- ・市役所広報で放送する内容をラジオでも聞けるようにする。(どんな山岳でも、山影でも傍受できるようにアンテナ設置を多くする)。
- ・地震に備え、道路や橋などライフラインの耐震化を最優先して欲しいです。
- ・市内の広域避難地の安全性に不安を感じる。(自主防災会長会議では「液状化」についての具体的な策が講じられていないので)
- ・我が子が旧大須賀横須賀幼稚園へ通園しています。海に近く、又、園舎も古く、災害時を想うととても心配です。どうか、1日でも早く安全な場所へ移設していただきたいです。

(おおぶち保育園に関する同様の意見1件)

- ・耐震リフォームには補助制度があるが、古家を新家にする場合も補助制度があっても良いと思う。
- ・広報かけがわのアナウンスが聞き取れないのもっと聞こえやすくしてほしい(すぐにアナウンス内容をHPに載せるとかもしてほしい)。
- ・私は消防団に入団して6年になりますが、消防団のあり方には疑問を持っております。はっきりと思うのは、大会は、ほぼ無意味であること。何のための消防団かを考えさせられてしまいます。
- ・会社勤めの若者が多い中、地域の消防団の充実が困難である場合は消防士の育成に力を入れていただけると心強い。
- ・地元の消防団について。協力金は無くなったものの、強引な勧誘(説明会に参加すると入団届けに捺印するまで帰れない等)があるらしいのですが本当でしょうか？少子化の問題もあるので地元消防団の水準を保っていくのは難しいと思います。
- ・掛川市に住んで7年になりすっかり自分の街になり愛着を持っています。ただ、街灯がないのにはびっくりし今でも不思議に思います。  
→「街灯の設置・増設」その他6件。
- ・大東地区に住んでいますが、小学生(土方小)2人の通学路に歩道がないので歩くのがとても怖いそうです。大型トラックも頻繁に通るので早く歩道を作ってください(土方地区 嶺向の中嶋屋近辺です)。後、城東駐在所のところに信号も付けてください。
- ・子供の通学路に(帰り)高齢者の方々に見守り隊をしていただけると不審者から子供たちを守ってもらえると思います。少子化のため一人で帰る子供が増え毎日危険に思っています。また自然災害時にも助けてもらえると嬉しいです。
- ・最近よく交差点などに中高年の方々が立って子どもたちの帰りをパトロールしているが、町中の交差点だけでなく、地域全体で、子供か死角になっている道路や、田舎山あいなどの地域も、中高年の方々やお年寄りに見守ってもらうととても安心します。
- ・中高校生やお年寄りの交通指導とかをしてほしい。
- ・うちも以前空き巣(泥棒)に入られたことがあるのですが、その後も家の近所の家も数軒入られてすごく怖いので交番のパトロールを強化してほしいです(この7年間で知っているだけで4軒入られています)。

【協働・広域・行財政分野】

- ・各種団体への支援が多いと思いますが支援して団体に丸投げでは…。もう少し市と市民が一体になって活動するようにしてください。会合に出掛けても市役所の方針が伝わってきません。市の職員が一般市民の中に入ってほしい。
- ・一般の市民にはまちづくり等がなんだか伝わってきません。市役所と地域の役員までは流れても一般の市民までは市政は流れてきません。”
- ・「広報かけがわ」の充実(毎回楽しみにしている)と読者がいえる内容に内容を見直してほしい。
- ・市内には住んでいるが、職場は浜松、私は寝に帰るだけなので市の動きが分からない。FACEBOOKなどのPUSH型の情報があったら絶対見る。
- ・大震災の時の津波情報など、市のHPを参照したが、情報が遅く、あまり参考にならなかった。リアルタイム性の高い情報は直ちに対応して欲しい。市のホームページが見にくい(特に4月の選挙の結果の表にがっかり)。
- ・上西郷地区の光ファイバー整備も急務だと思います。
- ・(一般的に)税が高い:4件、市民税が高い:6件、都市計画税が高い:2件、固定資産税が高い:1件。
- ・浜岡原発の廃炉に向けた住民投票を希望します。
- ・設備や公共の施設など、多目的を目指して中途半端になっているのでは?利用されていない無駄な部分が多いと感じる。(他2件)
- ・市の課題は山積と思うが、予算的に見て優先順位は必要。住民の要望は多岐と思うが、発展的な基本計画の元に行政を。
- ・住民からの苦情等の受付窓口の件。各種別に行政としては担当が決まっているでしょうが、この件はどの受付になるのかというような窓口のTEL先が分からず、電話のたらいまわしになることがありました。
- ・選挙の時に投票した人に何か特典があると市政に関心を持ち、20代からの考え方が変わり、みんなの町づくりが少しずつできてるのではないのでしょうか?
- ・健全財政を目指すべき:6件。
- ・市政の公約についての進捗状況や成果を第三者がチェックするようにした方がよいと思います。
- ・市長と市民との対話集会がないので多くしてほしい
- ・市役所の平日の時間をもっと長くしてほしい。木曜日だけ19時になっていますが、木曜日に行ける人ばかり

ではないです。月・水・金は 19 時までとか、もう少し工夫してほしい。

・行革：補助金など大きく削減されてきている。市民が前向きな活動ができるようこれ以上削減すべきでは無いのでは。

・都市計画税が即住民に生きるよう、地域によって片寄らない使い方をして欲しい。

・生活する上で困ったことがあった時に相談する窓口があると助かります。

・地域生涯学習センターの活用：誰もが気軽に立ち寄れる場所になるとよい。

・自治会役員をする人がいないため運営に問題がある。

・すべてを行政に期待しすぎ。個人の自助努力を大切にしたい。

・行政から自治会への依頼やおしつけを減らせ

・問題意識を持ち団結力を持った自治会を期待したい

・市職員を減らしているからか市民への負担が多い。区長の年頃になると色々な役が廻ってくる。中には好きで役を引き受ける人もいるが、順番で仕方ないという人が多い。また地区センター等が設立されたが、区長会がやっている事とダブっている事も多い。もう少し有益な事、無駄な事考えてもらいたい。

・協働活動もよいけれど民間(自治会活動)の負担も増えそうでちょっと心配。

・各地区からの要望等…十分検討して要望に添うよう努力して欲しいです(地区を上げての要望ですので)

・地域行事、活動について。行事に参加したくても参加できないことが多いです。中小企業勤めのため、有給休暇が取得しづらい事もあり、逆に地域の活動(祭典やレクレーション等)が負担に感じてしまうことがあります。

・男女共同参画は30代、40代はうまく行っているでしょうが、50代、60代はまだまだ男女の区別があり、女性への負担が多いと思います。家庭と仕事の両立が難しい。

・女性が能力を発揮する場があることは確かに素晴らしいが、そのために、子どもや家庭に掛けるべき時間やエネルギーがかなり減っていることは気にかかります。今の子どもたちを見ていると将来が心配になります。

## 【その他】

・掛川は公園が多く、コンパクトな町の中に学校、スーパー、銀行など揃っていて、私が住んでいるところからはすべて徒歩で行ける場所にあるのでそういう意味では住みやすいと思っています。只、中には市民のマナーが悪いと感じる事もよくあります。平気で道路を横切るお年寄り(事故も多い)、ゴミの出し方を守らない若い家族、ペットの糞をそのままにしている人など折角きれいな町なのでとても残念に思います。又、市の中心部は桜やユリなどきれいな花が次々と咲いているのに、市として盛り上げ方(イベント)を知らないと言うか、もっと工夫をすればにぎやかになると思います。もっと市外の人にアピールしたらいいのにはと思います。お城の桜やユリはもっとテレビなどにとりあげてもらって外から人を呼びたいものです。

・新幹線駅、東名インターなど大きな財産があるのに有効にまちづくりに活かされているとは思えません。新幹線駅なのに駅ビルも無いことに、他都市からの転入者としてはとても驚きました。菊川市、磐田市とさして変わらないのが不思議です。掛川城もあるのに観光地としても弱い感じなので掛川市はこれからどんな街として発展していきたいのか？全部中途半端な感じで残念です。

・83歳の私には重すぎるアンケートでしたが、これだけたくさんの方を考慮してくださっている方々に心から感謝いたします。大変勉強になりました。少しずつ物忘れを感じるようになっていく私には本当によかったです。少しでも忘れないためにも日記をつけることを、この地に嫁いで50年余り、欠かしたことはありません。何とか字がかけるのも、そのせいかもしれません。掛川市が一層発展していくことを祈ります。

・いろいろな立場の人がいるので全てを良くしようと思うのは難しいと思いますが、一つ一つを確実にゆっくりでもイイのもっと住みやすい街になったら嬉しく思います。期待しています。

・何年もたっているのに市長さんの顔を直接見たことがない(役職を持っている方々は別として)。これはどう考えても不可解なことである。広報に市長のことばをのせるだけでは人間的な親しみを感じない。市長の感想を広報にのせてほしい。

・市民の不満の理由を深く探る取り組みをしてほしい。

・今も大切なことですが、この先10年、20年、30年、…見据えたまちづくりが大切かと思えます。今の子どもたちが大人になった時、「このまちに住み続けたい！」と思うまちになれば最高です。

・老後安心して暮らせる町、子どもたちが平等に教育できる町、働くお母さんが安心して復帰できる町、健康で安全な町

・市財政困難なおり、文化財的施設の充実と、高齢少子化社会の安定生活基盤充実の優先度をよく見据えて推進していく行政を望みます。

・市民の方々は常にいろいろな不安を抱えて生活をされていると思います。健康、子育て、老後、経済それらを優先して市民生活のことを考えていただき、さらには産業、観光、インフラと快適なまちづくりを進めてください。特に海外に目を向けて、市民の意見を尊重してください。

・浜松～静岡間の中心都市になるようなまちづくりをお願いします。

・若い人達が町中に集まるような掛川市にして欲しいです。新しい建物・道路を作るのではなく、今ある物を大事にして自然を守り人間・動物が住みやすい町にしてもらいたいです。

・生涯学習都市として他の地域では体験できない学習プロセスを教育課程に組み込んで魅力のある地域としてほしい。

・旧大東ですが、町内の行事が年間を通し多いと思います。組費代、まつり代など年金生活者にとり、多額だと毎年思い知らされています。一部の人間の酒代やお礼など、はたしてこの金額でいいのでしょうか？考えてください。市民のためになっているのでしょうか。

・「都市の品格」として、「生涯学習」の理念が不可欠であり、生涯学習をもっと前面に出した市政、市民活動を展開していただきたい。

・リーマンショック以降失業者、低賃金労働者が増加する今日、税金負担が増す一方です。安心、安全、豊かで健康な生活するためにいろいろな視点から掛川市全体で弱者に手をさしのべてほしいものです。今の状況では、子供でさえ育てられません。一部の市民の声と思わず、掛川市全体の市民の声として、よりよい市民のための掛川市であるようお願いします。

・これからも、掛川の情報に注目し(住み始めて3か月位なので)掛川市を自慢できるようにしたいと思います。よろしくをお願いします。”

・市が取り組んでいることがあまりに知らなくて申し訳ありません。予算も限度があるので絵に描いた餅で終わらなければいいかと危惧しています。市役所の皆様の頑張りが一つでも多く実ること願っています。これからは行政に関心を持ちます。

・困っている高齢者の方、津波などの心配のある地域の方々、普通に暮らしている人々が普通に暮らせる地域社会になることを望んでいます。

・南部(大東区域、大須賀区域)からの合併に対する苦情:18件。

・支所の役割、充実性について職員がどっち方向を向いて仕事をしているか上部での指導がどのようになされているのかいつもそう思うが、支所機能充実化が市民向きとなっていないことを管理職員がどう理解しているか。

・一つの市域とはいえ、歴史・文化の違う地区をすべて公平・平等に扱うのはかえって不公平・不平等。医療、教育、社会保障などはどこでも同じサービスを受けられなければいけないが、他の施設等については地区の実情にあったものにしてほしい(旧掛川方式の押し付け)市域内分権を進めてほしい(支所に予算と責任を持たせる)支所職員のゼネラリスト化、資質の向上。安心して住むために原発は是非やめてほしいです。

・循環バス、ごみ収集等、旧掛川市と他の地区の違いが大きすぎると思います。平等性に欠けると思う。(例えば、分別ゴミ等、できないことはないはず、やらないだけだと思う。条件はみんな一緒です)

・現市長になり子育て、福祉、教育に対する情熱が全く感じられず首をかしげる言動もある。又市役所職員、教育委員会職員にも同様の姿が見られる。

・市役所は各事業を見直しスリム化することを願う。市民はモラルを高く持って各人が自立することを心がける。

・市長、市議会議員は選挙のときだけでなく街に出て掛川市の現況を市民に話し市民の声を直接聞くことをせよ。市役所職員は街に出て、例えば区の総会、各種会合などに出席し、市の現況を話し市民の声を聞くこと。市関係者は公僕であることを再確認して行動せよ。

・職員の対応が悪すぎる。各係窓口カウンターに立ったとき、職員同士が誰かが対応するだろうと思うのか、行動するのが遅い。(他7件)

・市職員のレベルアップをお願いします。(他1件)

・市議会の広聴案内の強化に努めてください。

・議員視察については、必要・重要性をよく考え実施されたい。

・アンケートに対する苦情:44件。

・これからの若者が住みたくなるような街に！！魅力ある掛川市に期待します。

・掛川市外通勤のため、掛川市についてほとんどわかりません。(掛川生まれ掛川在住)

・50歳以上よりも、20代～30代の意見を聞き入れた方がよい。

・少子高齢化社会時代、経済豊富な高齢者の利活用を考えてもよいと思う。遊ばせておくべきではない。

・他力本願、よそ者いじめ等多い。

・他県、他地域から引っ越してきた者にとって、掛川の「祭」への参加やや強引な費用徴収等は理解できないし、この市への定住のさまたげになっていると思います。心理的にも負担を感じます。もう少し、自由な空気感がなければ、他地域からの住み替え等、進んでいかない感じがします。